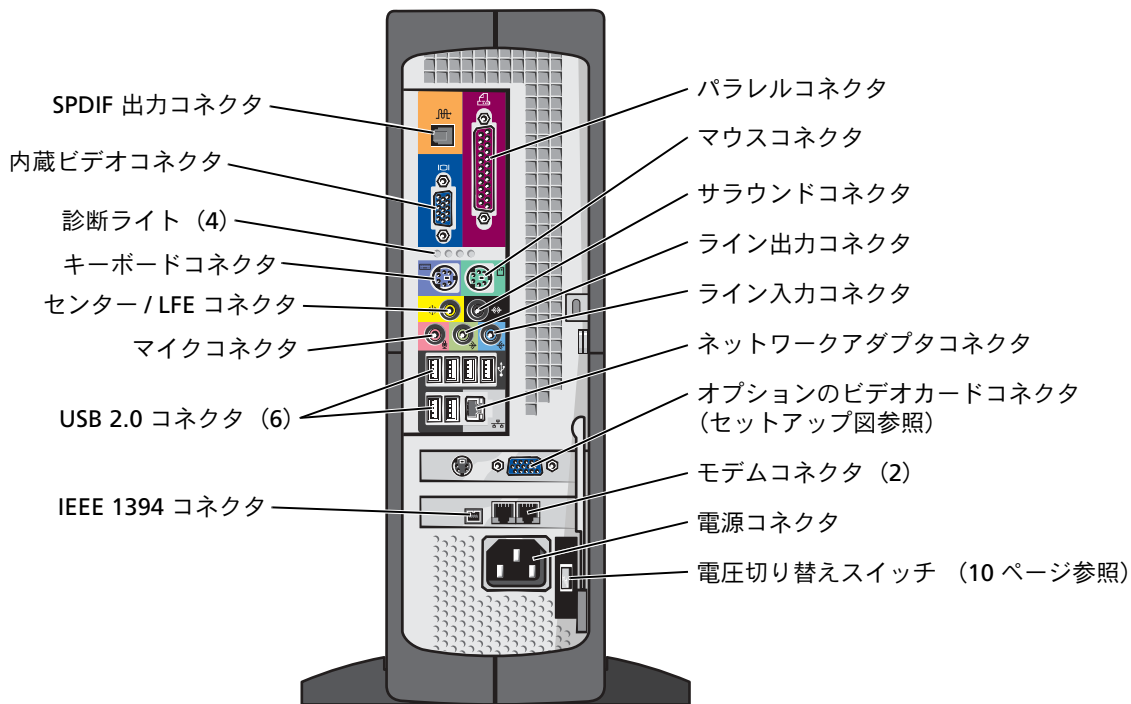


* IEEE 1394 コネクタ内蔵のコンピュータに搭載

** PC カードコネクタ内蔵のコンピュータに搭載



メモ、注意、警告



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの破損やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。

このマニュアルの内容は予告なく変更されることがあります。

© 2003 ~ 2004 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. からの書面による許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標： **Dell**、**DELL** のロゴ、**Inspiron**、**Dell Precision**、**Dimension**、**OptiPlex**、**DellNet**、**PowerApp**、**PowerVault**、**PowerEdge**、**PowerConnect**、**Axim**、および **Latitude** は、Dell Inc. の商標です。**Intel**、**Pentium**、および **Celeron** は、Intel Corporation の登録商標です。**Microsoft** および **Windows** は、Microsoft Corporation の登録商標です。

このマニュアルでは、上記以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル DHP

2004 年 4 月 P/N C5676 Rev. A02

目次

警告：安全にお使いいただくために	9
安全について：一般的な注意事項	9
安全について：コンピュータを使用するとき	10
安全について：コンピュータ内部の作業をするとき	11
安全について：静電気障害への対処	12
安全について：快適な使い方	12
安全について：バッテリーの廃棄	12
コンピュータについて調べる	13
1 コンピュータのセットアップと使い方	
ACアダプタの接続	17
コンピュータスタンドの取り付けおよび取り外し	18
プリンタのセットアップ	20
プリンタケーブル	20
パラレルプリンタを接続する	20
USB プリンタを接続する	21
IEEE 1394 デバイスの接続（オプション）	22
新しいコンピュータへの情報の転送	23
家庭用および企業用ネットワークのセットアップ	24
ネットワークアダプタの接続	24
ネットワークセットアップウィザード	25
インターネットへ接続する	26
インターネット接続のセットアップ	26

CD および DVD のコピー	27
CD または DVD のコピー方法	28
空の CD-R または空の CD-RW の使い方	28
役に立つヒント	29
ハイパースレディング	29
USB デバイスからの起動	30
コンピュータの電源を切る	31

2 問題の解決

問題の特定	33
ヘルプ情報を探す	35
バッテリーの問題	35
ドライブの問題	36
CD ドライブの問題	36
CD-RW ドライブに書き込みができない場合	36
DVD ドライブの問題	37
ハードドライブの問題	37
E メール、モデム、インターネットの問題	38
エラーメッセージ	40
プログラムの一般的な問題	41
コンピュータの反応が停止した場合	41
プログラムの反応が停止した場合	41
プログラムが繰り返し壊れる場合	41
以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム用に 設計されているプログラムの場合	41
画面が青一色になった場合	42
その他のソフトウェアの問題	42
その他の技術的な問題	43

一般的なハードウェアの問題	43
IEEE 1394 デバイスの問題	44
キーボードの問題	45
マウスの問題	46
ネットワークの問題	47
PC カードの問題	48
電源の問題	48
プリンタの問題	50
スキャナーの問題	51
サウンドとスピーカーの問題	52
スピーカーから音がしない場合	52
ヘッドフォンから音がしない場合	53
ビデオとモニターの問題	54
画面に何も表示されない場合	54
画面が見つづらい場合	55

3 高度なトラブルシューティング

診断ライト	57
Dell Diagnostics (診断) プログラム	62
Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用するとき	62
Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動	63
ドライバ	66
ドライバとは?	66
ドライバの確認	66
ドライバの再インストール	67

システムの復元の使い方	69
復元ポイントの作成.....	69
コンピュータを以前の動作状態に復元する.....	69
最後のシステムの復元を元に戻す.....	70
ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決	71
Microsoft® Windows® XP の再インストール	71
はじめに.....	71
Windows XP の再インストール.....	72

4 部品の拡張および交換

コンピュータの正面および背面	75
正面図.....	75
背面図.....	77
正面ドアの取り付け	79
コンピュータカバーを開く	80
コンピュータの内部	82
システム基板.....	83
PC カードの取り付け (オプション)	84
PC カードのタイプ.....	84
PC カードの取り付け.....	84
PC カードの取り外し.....	86
その他のカードの取り付け	87
ビデオカードの取り付けまたは取り外し	89
ビデオカードの取り外し.....	90
ビデオカードの取り付け.....	91

メモリの増設	91
DDRメモリの概要	91
メモリの取り付け	92
メモリの取り外し	95
コンピュータカバーを閉じる	96
5 付録	
仕様	97
標準設定	101
設定の表示	102
セットアップユーティリティ画面	102
パスワードを忘れたら	103
バッテリーの交換	104
デルへのお問い合わせ	106
認可機関の情報	107
デル製品の保証および返品について	107
索引	109

警告：安全にお使いいただくために

コンピュータを安全にお使いいただくために、次の注意事項に従い、ご自身の安全を確保して、コンピュータと作業環境を損傷の恐れから守りましょう。

安全について：一般的な注意事項

- 訓練を受けたサービス技術者以外は、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順には、必ず厳密に従ってください。
- 感電の危険がありますので、コンピュータを使用するときは、コンピュータ本体とデバイスの電源ケーブルを、正しい方法でアースされているコンセントに接続してください。これらの電源ケーブルには、正しくアースするため、三芯プラグが使用されています。アダプタプラグを使用したり、ケーブルからアース用のピンを取り外さないでください。延長ケーブルを使用する必要がある場合、延長ケーブルは三芯プラグのアース用のものを使用してください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはコンピュータを使用しないでください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業をおこなわないでください。
- コンピュータにモデムが搭載されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- コンピュータをクリーニングする場合、あらかじめコンピュータの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体洗剤やエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り5秒ほど待ってから、デバイスをコンピュータから取り外します。
- ネットワークケーブルを取り外す際にコンピュータがショートするのを防ぐため、まずお使いのコンピュータ背面にあるネットワークアダプタからケーブルを取り外し、次に、壁のネットワークジャックから取り外します。お使いのコンピュータにネットワークケーブルを接続する場合、まず壁のネットワークジャックにケーブルを接続してから、ネットワークアダプタに接続します。
- 突然の一時的な電力の増減からコンピュータを保護するため、サージサプレッサ、ラインコンディショナ、UPS（無停電電源装置）などを使用してください。
- コンピュータのケーブルの上に物を載せないでください。また、ケーブルは人が踏んだり、つまづいたりしないように配線してください。
- コンピュータの開口部に物を入れないでください。内部の部品がショートして発火や感電の原因になります。
- 暖房器具や熱源の近くにコンピュータを置かないでください。また、通気孔をふさがないようにしてください。コンピュータの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上にコンピュータを置かないでください。



- AC アダプタケーブルをコンセントから外している場合を除いて、雷雨時にはコンピュータを使用しないでください。
- AC アダプタをコンピュータの駆動またはバッテリーの充電に使用する場合、AC アダプタは机の上や床などの風通しの良い場所に置いてください。
- AC アダプタは、コンピュータの通常の操作中に高温になる場合があります。操作中や操作後すぐにアダプタを取り扱う際は、注意してください。

安全について：コンピュータを使用するとき

コンピュータをお使いになるときは、以下の安全にお取り扱いいただくためのガイドラインに従ってください。

⚠ 警告：コンピュータのカバー（コンピュータ本体のカバー、ベゼル、フィルターブラケット、ドライブベイカバーなど）を取り外したままの状態ではコンピュータを使用しないでください。

- お使いのコンピュータには、次のうちのどれか 1 つが搭載されています。
 - 固定電圧電源装置 — 固定電圧電源装置が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、一定の電圧量でのみ動作します（お使いのコンピュータの動作電圧については、コンピュータの外側に貼付されている規格ラベルを参照してください）。
 - 自動電圧回路 — 自動電圧回路が搭載されているコンピュータには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、正しい動作電圧が自動的に検出されます。
 - 手動電圧切り替えスイッチ — 背面パネルに電圧切り替えスイッチが搭載されているコンピュータでは、正しい動作電圧を手動で設定しなければなりません。ご使用地域の電圧に最も近い値にスイッチを設定してください。





➡ 注意：手動電圧切り替えスイッチが搭載されているコンピュータへの損傷を防ぐため、ご使用地域の AC 電源に最も近い値に電圧切り替えスイッチが設定されていることを確認します。日本で使用できる AC 電源は 100 V ですが、日本でのご使用の際は、電圧切り替えスイッチを 115 V に設定してください。また、モニターやコンピュータに接続しているデバイスもご使用地域の AC 電源で動作するように設定してください。

- コンピュータ内部の作業を始める前に、感電またはシステム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源ケーブルを取り外します。コンピュータが AC 電源に接続されている場合、システム基板の特定の部品に、常に電力が供給され続けます。

安全について：コンピュータ内部の作業をするとき

コンピュータカバーを開く前に、次の作業を順番通りにおこなってください。

 **警告：**お使いのオンラインの Dell™ マニュアル、またはデルより別途提供されたマニュアルで説明されている場合を除き、ご自身でコンピュータを修理しないでください。取り付け手順や作業の手順には厳密に従ってください。

 **注意：**システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り 5 秒ほど待ってから、システム基板からコンポーネントを取り外したり、コンピュータからデバイスを取り外してください。

- 1 オペレーティングシステムのメニューを使って、正しいコンピュータのシャットダウンをおこないます。
- 2 コンピュータと接続されているすべてのデバイスの電源を切ります。
- 3 コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面にあるカードスロット開口部周辺の金属部分などシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がします。


静電気はコンピュータ内部の部品を損傷させる恐れがあるので、手順をおこなう間は定期的にこの作業をおこない、身体の静電気を逃がしてください。

- 4 お使いのコンピュータ、およびモニターを含むデバイスをコンセントから取り外します。また、電話回線や通信回線のケーブルもコンピュータから外します。

これらの手順を踏むことで、感電など身体への危険を防ぐことができます。

さらに、必要に応じて次の点にも注意してください。

- ケーブルを抜くときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自体を引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。
- 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カードに接続している部品やカードとの接点には触れないでください。カードを持つときは、縁の部分か金属製の取り付けブラケットを持ってください。マイクロプロセッサチップなどの部品を持つときは、ピンの部分を持たずに、縁の部分を持ってください。

 **警告：**バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、家庭のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。

安全について：静電気障害への対処

静電気はコンピュータ内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなど、お使いのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

コンピュータ内部の作業を続けておこなう場合、定期的にシャーシの塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。

ESD（静電気放出）による損傷を防ぐため、次の手順もお勧めします。

- 部品は、コンピュータに取り付ける直前まで静電気防止梱包材に入れておきます。静電気防止梱包材から取り出す直前に身体の静電気を逃がしてください。
- 静電気に敏感な部品は静電気防止梱包材に入れて運びます。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない安全な場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

安全について：快適な使い方



警告：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす恐れがあります。



警告：モニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

コンピュータを快適に、効率よく使用するため、コンピュータの設置と使用に関しては、『はじめよう』ヘルプファイル（14 ページ参照）にある、コンピュータを快適に使用するための注意事項を守ってください。

安全について：バッテリーの廃棄



お使いのコンピュータにはコイン型リチウムバッテリーが使用されています。コイン型リチウムバッテリーは寿命が長く、交換の必要はほとんどありません。万一取り替えなければならない場合、104 ページを参照してください。

バッテリーを家庭のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。

コンピュータについて調べる

何をお探ですか？

こちらをご覧ください

- コンピュータの Diagnostics (診断) 『ResourceCD』プログラム
- コンピュータのドライバ
- コンピュータのマニュアル
- コンピュータのデバイスのマニュアル




マニュアルとドライバは、出荷時にコンピュータにプリインストールされています。CD を使用して、ドライバを再インストールしたり (67 ページ参照)、Dell Diagnostics (診断) プログラム (62 ページ参照) やマニュアルにアクセスできます。

CD に収録されている Readme ファイルには、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。

- プリンタのセットアップ方法
- トラブルシューティングおよび問題の解決
- 部品の拡張および交換
- デルへのお問い合わせ

『オーナーズマニュアル』



- お使いのコンピュータのセットアップ方法  セットアップ



何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- Windows を使用するための基本情報 『はじめよう』 ヘルプファイル
 - お使いのコンピュータをクリーニングする
 - お使いのマウスおよびキーボードの使い方
- スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
 - ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
 - 『はじめよう』 ヘルプファイルをクリックします。

- エクスプレスサービスコードおよび サービスタグ
- Microsoft® Windows® ライセンス ラベル

エクスプレスサービスコードおよび Product Key (プロダクトキー) ラベル



これらのラベルは、お使いのコンピュータに貼付されています。

- お使いのコンピュータに対応したドライバ
- テクニカルサポートに寄せられる質問への回答
- コンピュータのマニュアル

デルサポートウェブサイト — support.jp.dell.com

デルサポートウェブサイトでは、次のようなオンラインツールを提供しています。

- 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q & A、Diagnostics (診断) プログラム、インストールガイド、OS アップグレード情報、システムマニュアル
- ダウンロード — ファイルライブラリ (ドライバ、ソフトウェアのアップデート)
- テクニカルサポートへのお問い合わせ — E メールサポート、電話テクニカルサポート、引き取り修理状況確認
- 各種サービスのご案内 — サービスプラン、登録内容変更情報サービス
- その他

- Windows XP の使い方
- お使いのコンピュータのマニュアル
- お使いのデバイス (モデムなど) のマニュアル

Windows ヘルプとサポートセンター

- スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
- 問題に関連するトピックをクリックします。
- 画面の手順に従います。

何をお探ですか？

- オペレーティングシステムの再インストール

こちらをご覧ください

『オペレーティングシステム CD』




『オペレーティングシステム CD』を使って、オペレーティングシステムを再インストールした後、『ResourceCD』を使って、お使いのコンピュータに付属しているデバイス用のドライバを再インストールします。


オペレーティングシステムの Product Key (プロダクトキー) は、コンピュータに貼付されています。

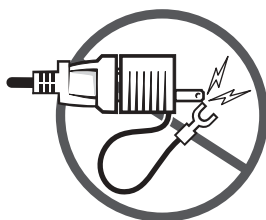
コンピュータのセットアップと使い方

ACアダプタの接続

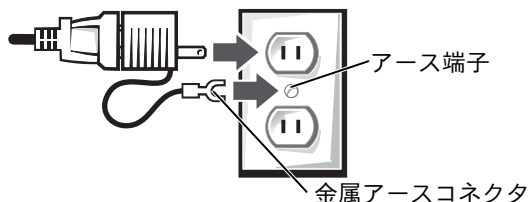
 警告：この項の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意事項に従ってください。

- 1 71 ページの「はじめに」の手順に従います。
- 2 AC アダプタを AC 電源ケーブルのプラグに接続します。

 警告：緑色のアース線をコンセントに接続する場合、絶対に緑色のアース線と電源プラグの先端部とを接触させないでください。感電、発火、またはコンピュータが損傷する恐れがあります（以下の図を参照）。



- 3 緑色のアース線をコンセントに接続しない場合は、手順 5 に進みます。
- 4 金属アースコネクタをコンセントのアース端子に接続します（以下の図を参照）。
 - a アース端子のネジを緩めます。
 - b 金属アースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入し、アース端子のネジを締めます。



- 5 AC 電源ケーブルをコンセントに接続します。

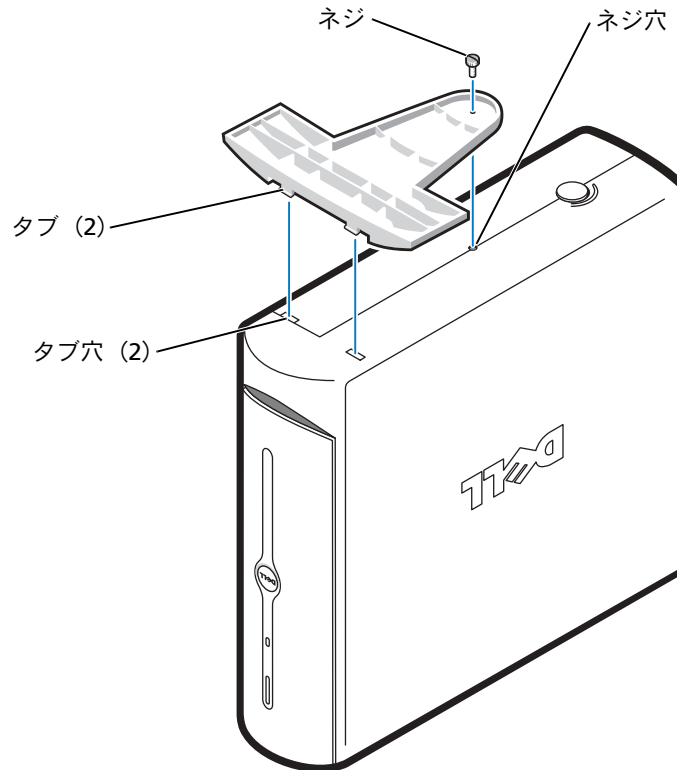
コンピュータスタンドの取り付けおよび取り外し

⚠ 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

📌 メモ：トップカバーを傷付けないように柔らかい表面の上にコンピュータを置いてください。

スタンドを取り付けるには …

- 1 上下が逆になるようにコンピュータを置きます。
- 2 スタンドの底部にネジを差し込みます。
- 3 スタンドの2つのタブとネジを、コンピュータの底部にあるタブ穴とネジ穴に合わせます。



- 4 ネジを締めます。

5 縦置きにコンピュータを置きます。



スタンドを取り外すには …

- 1 スタンドが上になるようにコンピュータを置きます。
- 2 ネジを緩めてスタンドを取り外します。
- 3 スタンドを再度取り付けるまでは、コンピュータを横置きに設置します。



プリンタのセットアップ

- ➡ 注意：オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むプリンタのセットアップ情報については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙、およびトナーまたはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元へ連絡してテクニカルサポートを受ける

プリンタケーブル

USB ケーブルまたはパラレルケーブルのいずれかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属していない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

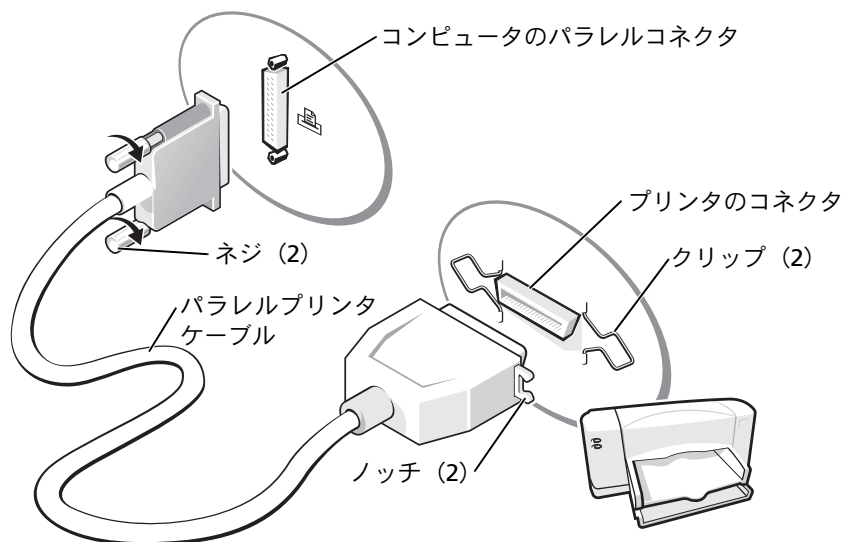
パラレルプリンタを接続する

- ⚠ 警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

- 1 オペレーティングシステムをセットアップしていない場合、セットアップを完了します。
- 2 コンピュータの電源を切ります（31 ページ参照）。


- ➡ 注意：長さ 3 m 以下のパラレルケーブルが最適です。

- 3 パラレルプリンタケーブルをコンピュータの平行コネクタに取り付け、2つのネジをしっかりと締めます。ケーブルをプリンタのコネクタに接続して、2つのクリップをノッチにはめます。



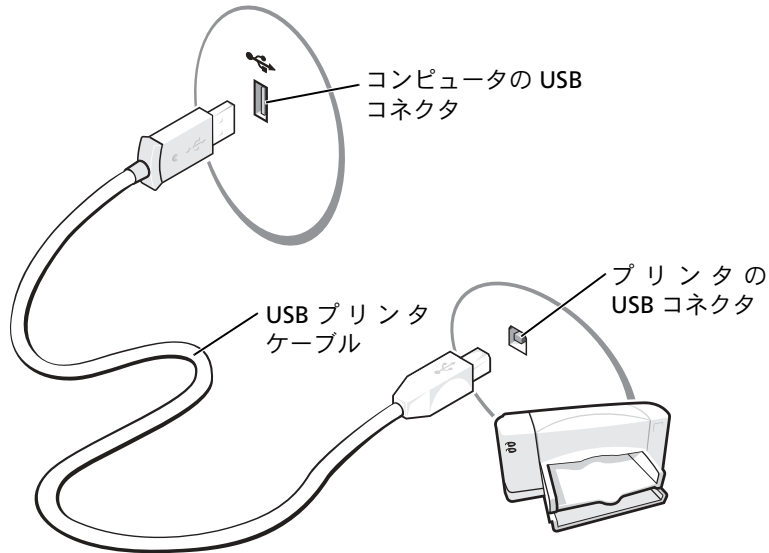
- 4 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**新しいハードウェアの検出ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
- 5 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

USB プリンタを接続する

 **メモ**：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態のときでも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをセットアップしていない場合、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。


- 3 USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに差し込みます。USB コネクタは一方方向にしか差し込めません。

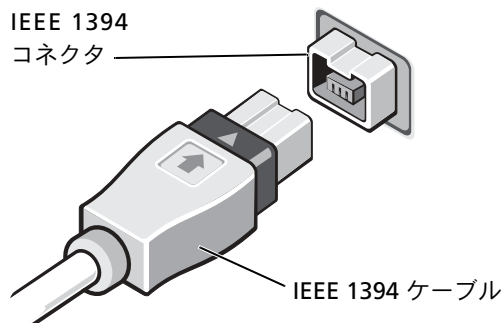


IEEE 1394 デバイスの接続（オプション）

IEEE 1394 デバイスは、コンピュータと周辺機器間に大量のデータを転送できますので、デジタルビデオカメラなどのマルチメディアデバイスに最適です。

お使いのコンピュータには、正面と背面の両方のパネルに IEEE 1394 コネクタが搭載されています（位置については、75 ページの「コンピュータの正面および背面」を参照）。

 **メモ：**コネクタには、アダプタを使って 6 ピンの IEEE 1394 デバイスを接続できます。



新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元の（古い）コンピュータから新しいコンピュータに転送するファイルと設定の転送ウィザードがあります。以下のデータが転送できます。

- E メール
- ツールバー設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットブックマーク

ネットワークまたはシリアル接続を介してデータを新しいコンピュータに転送したり、書き込み可能なCDまたはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存することができます。

新しいコンピュータに情報を転送するには …

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール**の順にポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 **これはどちらのコンピュータですか？**画面で、**転送先の新しいコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 4 **Windows XP CDがありますか？** 画面で、**Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには …

- 1 古いコンピュータに、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
- 2 **Microsoft Windows XP** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
- 3 **実行する操作の選択** 画面が表示されたら、**ファイルと設定を転送する** をクリックします。
- 4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 5 **これはどちらのコンピュータですか？**画面で、**転送元の古いコンピュータ** をクリックして、**次へ** をクリックします。

- 6 **転送方法を選択してください** 画面で、希望の転送方法をクリックします。
- 7 **何を転送しますか？**画面で、転送するアイテムをクリックして、**次へ** をクリックします。
情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています…** 画面が表示されます。
- 8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには …

- 1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定はどこにありますか？**画面で、設定とファイルを転送する方法を選んで、**次へ** をクリックします。
ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。
設定とファイルがすべて適用されると、**ファイルと設定の転送ウィザードの完了** 画面が表示されます。
- 3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

ネットワークアダプタの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには …

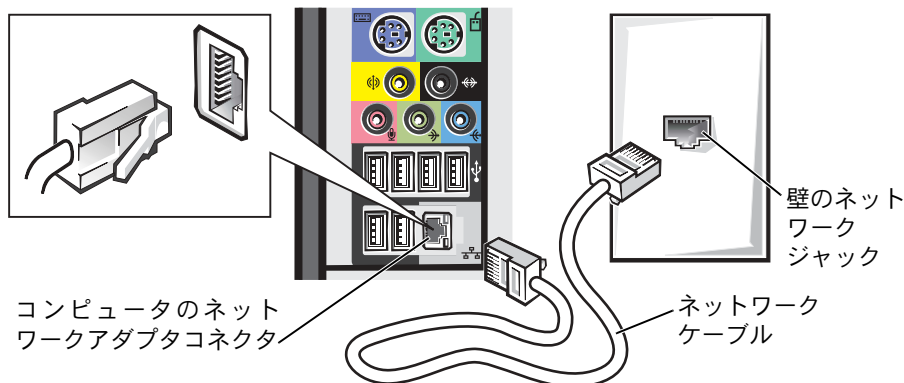
- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。



メモ：ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引っ張り、ケーブルの接続を確認します。

- 2 ネットワークケーブルのもう片方の端を壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。


 メモ：ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



ネットワークセットアップウィザード


Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → 通信** の順にポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの**開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 ネットワーク作成の**チェックリスト** をクリックします。

 メモ：インターネットに直接接続している という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

インターネットへ接続する

 **メモ**：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- ケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合、インターネット接続をセットアップする前に、電話線をコンピュータのモデムコネクタおよび電話ジャックに接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順については、ご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには …

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Windows® のデスクトップにある **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。


デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を利用してインターネット接続をセットアップする場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。
新しい接続ウィザード が表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。

- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
- ISP と契約しておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであり、セットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の指示に従ってセットアップを完了します。


 **メモ**：どの種類の接続を選択していいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6 **インターネットにどう接続しますか？** で該当するオプションをクリックしてから、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合は、38 ページの「E メール、モデム、インターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合は、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態についてご利用の ISP に確認するか、後でもう一度接続してみます。


CD および DVD のコピー


 **メモ**：CD および DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

この項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブが搭載されているコンピュータのみに適用されます。

次の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。Sonic RecordNow を使用して、コンピュータのオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成することもできます。手順については、コンピュータに付属している Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの右上角にある疑問符 (?) アイコンをクリックして、**RecordNow のヘルプ** または **RecordNow チュートリアル** をクリックします。

CD または DVD のコピー方法

 メモ：DVD / CD-RW コンボドライブをお持ちで、記録中に問題が発生する場合、Sonic サポートウェブサイト sonicjapan.co.jp にアクセスして、利用できるソフトウェアパッチがあるか確認してください。

 メモ：市販の DVD のほとんどは、著作権を保護されているので、Sonic RecordNow を使ってコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **RecordNow!** → **RecordNow!** とポイントします。
- 2 コピーする CD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブをクリックします。
- 3 **バックアップ** をクリックします。
- 4 CD または DVD をコピーするには …
 - CD または DVD ドライブが 1 つある場合、設定が正しいか確認して、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにコピーします。

プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD を CD または DVD ドライブに挿入して、**OK** をクリックします。

- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を挿入したドライブを選び、**バックアップ** をクリックします。コンピュータは、CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが完了すると、CD または DVD トレイが自動的に開きます。

空の CD-R または空の CD-RW の使い方

お使いの CD-RW ドライブは、CD-R および CD-RW ディスクという二種類の異なる記録メディアに書き込みをおこないます。空の CD-R は、音楽の保存やデータファイルを恒久的に保存するのに使用します。CD-R を作成したら、記録方法を変えない限りそのディスクに書き込むことはできません（詳細については、Sonic のマニュアルを参照）。空の CD-RW は、CD へのデータの書き込み、削除、再書き込み、およびアップデートをおこなうのに使用します。

役に立つヒント

- Sonic RecordNow を起動し、RecordNow プロジェクトを開いてから、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ&ドロップしてください。
- 通常のステレオで再生する音楽 CD を焼くには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic RecordNow を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW に最大容量を焼かないでください。たとえば、650 MB の空の CD に 650 MB のファイルをコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 または 2 MB を必要とします。
- CD への記録方法に慣れるまでは、空の CD-RW ディスクを使って CD への記録を練習してください。間違えた場合でも、CD-RW であればデータを消去して再度やりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに恒久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- Sonic サポートウェブサイト sonicjapan.co.jp に、役に立つヒントが他にもありますので、参照してください。

ハイパースレッディング


ハイパースレッディングは、Intel® のテクノロジーで、1つの物理マイクロプロセッサを2つの論理マイクロプロセッサとして機能させることによってコンピュータパフォーマンスを全体的に向上させ、複数の特定のタスクを同時に処理することを可能にします。Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムは、ハイパースレッディングテクノロジーを利用するために最適化されているので、Windows XP を使用することをお勧めします。多くのプログラムは、ハイパースレッディングの恩恵を受けることとなりますが、ハイパースレッディング用に最適化されていないプログラムもあります。それらのプログラムは、ソフトウェアの製造元によるアップデートが必要な場合もあります。アップデートおよびハイパースレッディングでソフトウェアを使用する方法については、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

お使いのコンピュータがハイパースレディングテクノロジーを使用しているか確認するには …

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 2 **ハードウェア** をクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 3 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、プロセッサタイプの横のプラス (+) サインをクリックします。ハイパースレディングが有効な場合、プロセッサは 2 つ表示されています。

セットアップユーティリティを使ってハイパースレディングを有効または無効にすることができます。セットアップユーティリティにアクセスする方法については、102 ページを参照してください。


USB デバイスからの起動

 **メモ** : USB デバイスから起動するには、デバイスが起動可能である必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、デバイスが起動可能であるか確認してください。

メモリーキーまたは CD-RW ドライブなどの USB デバイスからコンピュータを再起動するには …

- 1 USB デバイスを USB コネクタに接続します (76 ページ参照)。
- 2 コンピュータをシャットダウンして (31 ページ参照)、再起動します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。


ここで時間をおきすぎて、Microsoft® Windows® のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。


 **メモ** : この機能は、起動順序を 1 回だけ変更します。次の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

- 4 起動デバイスの一覧が表示された場合、**USB Flash Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。

コンピュータは接続されている USB デバイスから再起動します。

コンピュータの電源を切る

 注意：データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押さずに、以下で説明する Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

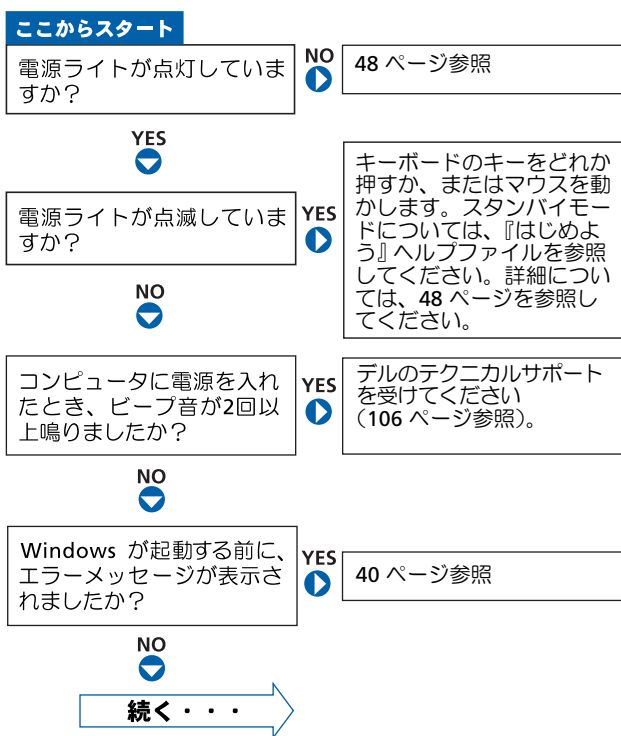
 メモ：コンピュータの電源を切る代わりに、コンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードを起動するように設定することができます。省電力モードの詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照するか、または Windows XP ヘルプとサポートセンターで【スタンバイ】または【休止状態】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
- 2 **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
シャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源は切れます。

問題の解決

問題の特定

問題が発生した場合、下の図を使用して、解決方法を説明しているページを参照してください。



<p>今、問題があるのは・・・</p> <p>NO ▼</p>	▶	ビデオまたはモニターです。	▶ YES	54 ページ参照
		サウンドまたはスピーカーです。	▶ YES	52 ページ参照
		プリンタです。	▶ YES	50 ページ参照
		モデムです。	▶ YES	38 ページ参照
		マウスです。	▶ YES	46 ページ参照
		キーボードです。	▶ YES	45 ページ参照
		ハードドライブまたはディスクドライブです。	▶ YES	36 ページ参照
		ネットワークアダプタです。	▶ YES	47 ページ参照
		スキャナです。	▶ YES	51 ページ参照
		Windowsのエラーメッセージが表示されます。	▶ YES	40 ページ参照
		アプリケーションプログラムです。	▶ YES	41 ページ参照
		インターネットです。	▶ YES	38 ページ参照
		Eメールです。	▶ YES	38 ページ参照
<p>上記以外の問題がありますか？</p>	▶ YES		43 ページ参照	

ヘルプ情報を探す

『はじめよう』ヘルプファイルにアクセスするには …

- 1 スタート ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **ユーザーズガイド**および**システムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
- 3 『はじめよう』ヘルプファイルをクリックします。

Windows ヘルプにアクセスするには …

- 1 スタート ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 問題に関連する用語やフレーズを **検索** ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
- 3 問題に関するトピックをクリックします。
- 4 画面の指示に従います。

お使いのコンピュータに関する情報の詳細を調べます — 13 ページを参照してください。

バッテリーの問題



警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。最寄りの廃棄物処分施設に問い合わせて、バッテリーの処分方法を確認してください。




警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

バッテリーを交換します — コンピュータを起動した後に日時の情報を繰り返しリセットしなければならない場合、またはスタートアップの際に間違った日時が表示される場合は、バッテリーを交換します (104 ページ参照)。交換してもバッテリーが正常に機能しない場合、デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

ドライブの問題

CD ドライブの問題

 **メモ**：高速 CD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。このノイズはドライブや CD の異常ではありません。

WINDOWS の音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。

- 音量つまみを上にドラッグして、音量が上がったか確認します。
- どのボックスにもチェックマークがなく、ミュートが選択されていないか確認します。

他の CD が再生できるか確認します — 元の CD に問題がないことを確認するため、別の CD を挿入します。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 52 ページの「サウンドとスピーカーの問題」を参照してください。

WINDOWS がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。CD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがドライブを認識できないことがあります。


ディスクをクリーニングします — CD をクリーニングする手順については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。

CD-RW ドライブに書き込みができない場合

その他のプログラムを閉じます — CD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD-RW ディスクへの書き込みの前に WINDOWS のスタンバイモードを無効にします — 省電力モードについては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照するか、Windows XP ヘルプとサポートセンターで【スタンバイ】というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。

DVD ドライブの問題

 **メモ**：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

他の DVD が再生できるか確認します — 元の DVD に問題がないか確認するため、別の DVD を挿入します。

Windows がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックをおこない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

ディスクをクリーニングします — DVD をクリーニングする手順については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。


割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 71 ページを参照してください。

ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 エラーが発生しているか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 3 **ツール** タブをクリックします。
- 4 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 5 **開始** をクリックします。

E メール、モデム、インターネットの問題

 **メモ**：モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

電話線の接続を確認します — 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは、緑色のラベルが付いているかコネクタの絵柄の横にあります。）電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッと収まるまで押し込みます。

電話ジャックを確認します — モデムから電話線を取り外して、電話に接続します。電話の発信音を確認します。

モデムを直接電話ジャックに接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接電話ジャックに接続します。

他の電話線を使用してみます — 3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従ってモデムの問題を特定し、解決します。（コンピュータによっては **Modem Helper** が利用できないものもあります。）

モデムが Windows® と通信しているか確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
- 4 **モデム** タブをクリックします。
- 5 モデムの COM ポートをクリックします。
- 6 Windows がモデムと通信しているか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
すべてのコマンドに応答が表示されていれば、モデムに問題はありません。

キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワークを調整します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックして、**電話とモデムのオプション** をクリックします。
- 3 表示されたリストで、**接続タイプ** をクリックしてハイライト表示します。
- 4 **ダイヤル情報** タブをクリックして、**編集** ボタンをクリックします。
- 5 **キャッチホン機能を解除するための番号** ボックスをクリックして、チェックマークを付けます。
- 6 ドロップダウンメニューで無効にするコードを選択します（たとえば、*70）。
- 7 **適用** をクリックして、**OK** をクリックします。

インターネットへの接続を確認します — Eメールプログラム Outlook Express を起動して、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてチェックを外してからインターネットに接続します。

ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します — 契約については、ISPにお問い合わせください。

ISP（インターネットサービスプロバイダ）にお問い合わせます — 契約している ISP に、サポートについてお問い合わせください。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。

ファイル名に次の文字は使用できません: ¥ / : * ? " < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

.DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作をおこない、アプリケーションプログラムを削除して、再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 3 削除するプログラムを選択します。
- 4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックします。
- 5 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしています。起動可能な CD を挿入します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータのリソースを回復させるため、コンピュータを再起動する必要がある場合もあります。その場合、使用するプログラムを最初に開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（106 ページ参照）。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。空のディスクにコピーするか、容量の大きなディスクを使用します。

x:¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません — ドライブにディスクを挿入して、再度試みます。

プログラムの一般的な問題

コンピュータの反応が停止した場合

コンピュータの電源を切ります — コンピュータが動かなくなったり、キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータの電源を入れます。オペレーティングシステムのシャットダウンを実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

プログラムの反応が停止した場合

プログラムを終了します

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 反応がなくなったプログラムを選択します。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返し壊れる場合



メモ：通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたは CD に収録されています。

プログラムのマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアの製造元は、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム用に設計されているプログラムの場合

プログラム互換性ウィザードを実行します — Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作できるよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

画面が青一色になった場合

コンピュータの電源を切ります — キーを押してもコンピュータが反応しない、または正常にコンピュータをシャットダウンできなくなった場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータを再起動します。スタートアップ処理の間、CHKDSK が自動的に実行されます。画面の指示に従います。

その他のソフトウェアの問題

問題のあるプログラムのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細について、そのプログラムの製造元に問い合わせます

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します — お使いのコンピュータに CD-RW ドライブまたは zip ドライブが搭載されている場合、バックアップ作成の手順については、ドライブのマニュアルを参照してください。

入力したデータが間違っていないか確認します — プログラムのマニュアルを参照して、入力した値や文字が間違っていないか確認します。

ウイルスを調べます — アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブまたは CD を調べます。

コンピュータを再起動します — 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。次に、電源ボタンを押す代わりに **スタート** メニューからお使いのコンピュータをシャットダウンします。**スタート** メニューからシャットダウンしないと、データを損失する恐れがあります。

互換性を確認します

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応していて、コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します — 詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールします。

その他の技術的な問題

デルサポートウェブサイトへアクセスします — 一般的な使用方法、インストール、およびトラブルシューティングに関するご質問については support.jp.dell.com にアクセスします。サポートウェブサイトでは、問題解決に役立ついくつかのツールを提供しています。ウェブサイトの詳細については、13 ページの「デルサポートウェブサイト」を参照してください。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス&サポートのご案内』を参照してください。

デルへ電話で問い合わせます — デルサポートウェブサイトで問題が解決しない場合、デルテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください（106 ページ参照）。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス&サポートのご案内』を参照してください。

一般的なハードウェアの問題

お使いのコンピュータに以下の症状が 1 つでも表われる場合、デバイスのコンフリクトが発生している可能性があります。


- 特に、ある特定のデバイスを使うとコンピュータがロックアップする
- 最近取り付けたデバイスが機能しない
- サウンドカードから雑音が聞こえたり、その他の問題を示している
- プリンタの印字が文字化けしている
- マウスポインタが動かない、または動いてもスムーズに動かない
- コンピュータは最大性能で機能していません、という内容のメッセージが表示される
- 特別な理由もないのにエラーが発生したり、プログラムが壊れる
- モニターに何も表示されない

最近増設したハードウェアを取り外してコンフリクトが解決するか確認します — ハードウェアを取り外すとコンフリクトが解決する場合、設定とトラブルシューティング手順については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。問題が解決しない場合は、ハードウェアの製造元にお問い合わせになり、テクニカルサポートを受けてください。

トラブルシューティングについては、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 71 ページを参照してください。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **メモ** : Windows エクスプローラで、デバイスがドライブとして一覧に表示されているか確認してください。

IEEE 1394 デバイスを確認します — IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

Windows® が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デルから購入した **IEEE 1394 デバイス** に問題がある場合 — デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

デル以外から購入した **IEEE 1394 デバイス** に問題がある場合 — IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

キーボードの問題

コンピュータを再起動します

- マウスが機能している場合、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。コンピュータがシャットダウンしたら、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。
- キーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが反応しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押します。次に、電源ボタンを再度押して、コンピュータを再起動します。

キーボードケーブルを確認します

- キーボードケーブルがしっかりとコンピュータに接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし (31 ページ参照)、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにキーボードケーブルを接続しなおした後、コンピュータを再起動します。
- 曲がったり壊れたピンや、損傷したり擦り切れたケーブルがないか、ケーブルコネクタを確認します。曲がっているピンはまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外して、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードを確認します — 正常に機能している別のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したキーボードが機能する場合、最初に接続していたキーボードに問題があります。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 71 ページを参照してください。

マウスの問題

コンピュータを再起動します

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 **u** と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、電源ボタンを押してコンピュータを再起動します。

コンピュータの電源を入れる前にマウスを接続した場合、マウスケーブルを接続しなおします

- 1 <Ctrl><Esc> を同時に押して、**スタート** メニューを表示します。
- 2 **u** と入力してからキーボードの矢印キーを押し、**電源を切る** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りにマウスケーブルを接続しなおします。
- 4 コンピュータを起動します。

コンピュータの電源を入れた後にマウスを接続した場合、電源ケーブルを外して、マウスケーブルを接続しなおします — 電源を入れてからマウスを接続すると、マウスは機能しません。マウスの機能を回復するには …

- 1 コンピュータの電源が入っている状態で、電源ケーブルをコンピュータの背面から外します。
- 2 マウスをコンピュータに接続します。
- 3 電源ケーブルを接続しなおします。
- 4 コンピュータの電源を入れます。

電源ボタンを押してもコンピュータの設定は解除されません。また、マウスの機能も回復しません。

マウスケーブルを確認します

- 曲がったり壊れたピンや、損傷したり擦り切れたケーブルがないか、ケーブルコネクタを確認します。曲がっているピンはまっすぐにします。
- ケーブルがしっかりとコンピュータに接続されているか確認します。

マウスを確認します — 正常に機能している別のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。新しく接続したマウスが機能する場合、最初に接続していたマウスに問題があります。

マウスの設定を確認します

- 1 スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- 2 マウス をクリックします。
- 3 設定を調整してみます。

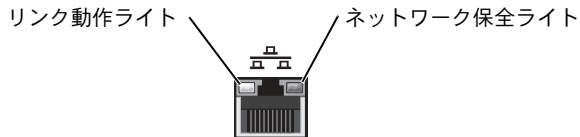
マウスドライバを再インストールします — 67 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 71 ページを参照してください。

ネットワークの問題

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルが 24 ページの指示通りに接続されているか確認します。

コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — インジケータが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。




コンピュータを再起動して、もう一度ネットワークにログオンしてみます

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 71 ページを参照してください。

PC カードの問題

 **メモ**：お使いのコンピュータは、16 ビット PCMCIA カードにのみ対応しています。32 ビット CardBus は使用しないでください。


PC カードを確認します — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

カードが Windows® によって認識されているか確認します — Windows タスクバーの **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧に表示されていることを確認します。

デルから購入した PC カードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

電源の問題

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

電源オプションのプロパティの設定を調整します — お使いのコンピュータはスタンバイモードまたは休止状態モードに入っている可能性があります。省電力モードの詳細については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照するか、または Windows XP ヘルプとサポートセンターで【スタンバイ】または【休止状態】と入力して検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 — 57 ページの「診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードに入っています。スタンバイモードから通常の動作状態に戻すには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルが、コンピュータ背面の電源コネクタおよびコンセントの両方にしっかりと差し込まれているか確認します。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに差し込まれていて、電源タップに電源が入っているか確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。
- 電源保護装置、電源タップ、および電源延長ケーブルを取り外し、コンピュータの電源が入るか確認します。
- 主電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (83 ページ参照)。
- 正面パネルのケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (83 ページ参照)。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

電源ライトが橙色に点灯している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- マイクロプロセッサの電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (83 ページ参照)。
- メモリモジュールを取り外して、取り付けなおします (91 ページ参照)。
- すべてのカードを取り外して、取り付けなおします (87 ページ参照)。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

電源ライトが橙色に点滅している場合 — デバイスが誤動作しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。

- 主電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (83 ページ参照)。
- ビデオカードを取り付けている場合、取り外して取り付けなおします (89 ページ参照)。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

電氣的な妨害を調べます — コンピュータと同じ回路に接続しているか、近くで使用している電化製品が電氣的な妨害の原因になることがあります。その他の原因には …

- 電源延長ケーブル
- キーボードおよびマウス延長ケーブル
- ひとつの電源タップに接続しているデバイスの数が多すぎる場合
- ひとつのコンセントに複数の電源タップが接続されている場合

プリンタの問題

- **メモ**：デルではプリンタの保証はおこなっておりません。プリンタのテクニカルサポートについては、プリンタの製造元にお問い合わせください。プリンタのマニュアルを参照して、正しい電話番号を確認してください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているか確認します — 電源ボタンについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタケーブルの接続を確認します

- ケーブル接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（20 ページ参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

Windows® がプリンタを認識しているか確認します

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 3 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。
プリンタが一覧に表示されている場合、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 4 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブを選択します。パラレルプリンタの場合、**印刷するポート** が **LPT1：プリンタポート** に設定されているか確認します。USB プリンタの場合、**印刷するポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

- **メモ**: デルではスキャナーの保証はおこなっておりません。スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。スキャナーのマニュアルを参照して、正しい電話番号を確認してください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — お使いのスキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブル接続を確認します

- お使いのスキャナーに電源ケーブルが付いている場合、電源ケーブルがしっかりとコンセントに接続され、スキャナーの電源が入っているか確認します。
- スキャナーケーブルがコンピュータとスキャナーにしっかりと接続されているか確認します。

Microsoft® Windows® がスキャナーを認識しているか確認します


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 3 **スキャナとカメラ** をクリックします。

お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 再インストールの手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

スピーカーから音がしない場合

-  **メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows® の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴く場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

スピーカーのケーブル接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図の指示通りにスピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。お使いのスピーカーの音量を調節できる場合、音の歪みを解消するため、音量、低音、または高音の調節をします。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量のつまみが上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの正面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

デジタルモードを有効にします — CD ドライブがアナログモードで動作している場合、お使いのスピーカーは機能しません。デジタルモードを有効にするには …

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**サウンド、音声、およびオーディオデバイス** をクリックします。
- 2 **サウンドとオーディオデバイス** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックします。
- 4 お使いの CD ドライブ名をダブルクリックします。
- 5 **プロパティ** タブをクリックします。
- 6 この **CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする** ボックスにチェックマークを付けます。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切って、干渉を調べます。

スピーカーの診断プログラムを実行します — スピーカーの中には、自己診断テストが含まれているものがあります。手順については、スピーカーのマニュアルを参照してください。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします — 66 ページを参照してください。

割り込み要求のコンフリクトがないか確認します — 71 ページを参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（75 ページ参照）。


デジタルモードを無効にします — CD ドライブがデジタルモードで動作している場合、お使いのヘッドフォンは機能しません。デジタルモードを無効にするには …

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**サウンド、音声、およびオーディオデバイス** をクリックします。
- 2 **サウンドとオーディオデバイス** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックします。
- 4 お使いの CD ドライブ名をダブルクリックします。
- 5 **プロパティ** タブをクリックします。
- 6 この **CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする** ボックスのチェックマークを外します。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量のつまみが上げてあり、ミュートが選択されていないか確認します。

ビデオとモニターの問題

画面に何も表示されない場合

 **メモ:** トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

モニターの電源ライトを確認します — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかりと押して、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場合、モニターに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。

モニターのケーブル接続を確認します — 曲がったり壊れたピンがないか、コネクタを確認します。(通常、モニターケーブルコネクタには欠けているピンがあります。) ビデオケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図にある指示通りに接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電源ケーブルを交換します — コンピュータの電源ケーブルとモニターの電源ケーブルを交換して、電源ケーブルに問題がないか確認します。

ビデオ延長ケーブルを使用している場合、ケーブルを確認します — ビデオ延長ケーブルを取り外すと問題が解決する場合、ケーブルに問題があります。

別のモニターを確認します — 可能であれば、別のモニターをコンピュータに接続してみます。

診断ライトを確認します — 57 ページを参照してください。

画面が見づらい場合

モニターの設定を確認します — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します — スピーカーにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがモニターから 60 センチ以上離れていることを確認します。

外部電源をモニターから離します — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器により、画面の状態が不安定になることがあります。電気的な妨害を調べるため、コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみます。

モニターの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

Windows® の画面設定を調整します


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **画面** をクリックして、**設定** タブをクリックします。
- 4 **画面の解像度** と **画面の色** の設定を変更します。


推奨された設定に戻します — 解像度とリフレッシュレートの設定を元に戻します。手順については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。


高度なトラブルシューティング


診断ライト


コンピュータの背面パネルには、それぞれ「A」「B」「C」「D」とラベルが付いた4つのライトがあり、問題のトラブルシューティングに役立ちます（79 ページ参照）。これらのライトは、黄色または緑色に点灯します。コンピュータが正常に起動すると、ライトが点滅します。コンピュータの起動が終了したら、ライトがすべて緑色に点灯します。コンピュータが誤動作している場合、ライトの色と順番で問題を特定することができます。


 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	コンピュータが通常のオフの状態、コンピュータが機能しているコン または BIOS に障害が起きている 可能性があります。	セントに接続され、電源ボタンを押 していることを確認します。



 = 黄色

 = 緑色




 = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	<p>メモリモジュールが検出されましたが、メモリに障害が発生しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 取り付けられているメモリモジュールが1つの場合、取り付けなおして(91 ページ参照)、コンピュータを再起動します。 • 取り付けられているメモリモジュールが2つ以上の場合、モジュールを取り外し、1つを取り付けなおして(91 ページ参照)、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。 • 適切に動作する同じ種類のメモリがある場合、そのメモリをコンピュータに取り付けます(91 ページ参照)。 • 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください(106 ページ参照)。

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	拡張カードに障害が起こっている可能性があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1 カード（ビデオカードではない）を取り外し（87 ページ参照）、コンピュータを再起動してコンフリクトが起きているか調べます。 2 問題が解決しない場合、取り外したカードを取り付け、別のカードを取り外してコンピュータを再起動します。 3 各カードでこの手順を繰り返します。コンピュータが正常に起動する場合、コンピュータから取り外した最後のカードのリソースコンフリクトのトラブルシューティングをおこないます（71 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照）。 4 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（106 ページ参照）。
 A B C D		

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 <p>A B C D</p>	ビデオカードに障害が起こっている可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータにビデオカードを取り付けている場合、カードを取り外し、取り付けなおして(89ページ参照)、コンピュータを再起動します。 • 問題が解決しない場合、正常に機能しているビデオカードを取り付け、コンピュータを再起動します。 • 問題が解決しない場合、またはビデオがコンピュータに内蔵されている場合、デルにお問い合わせください(106ページ参照)。
 <p>A B C D</p>	フロッピードライブまたはハードドライブに障害が起こっている可能性があります。	すべての電源ケーブルおよびデータケーブルを接続しなおし、コンピュータを再起動します。
 <p>A B C D</p>	USB に障害が起こっている可能性があります。	すべての USB デバイスを取り付けなおし、ケーブル接続を確認して、コンピュータを再起動します。

-  = 黄色
-  = 緑色
-  = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
---------	-------	---------



メモリモジュールが検出されませんでした。

- すべてのメモリモジュールを取り付けなおし（91 ページ参照）、コンピュータを再起動します。
- メモリコネクタの不良でないことを確認するために、すべてのメモリモジュールを取り外し（91 ページ参照）、メモリモジュールを1つ取り付けて（コンピュータが単一モジュールに対応している場合）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、メモリモジュールを別のコネクタに移動して、コンピュータを再起動します。障害のあるコネクタが見つかるまで、またはエラーなしですべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。



メモリモジュールは検出されましたが、メモリ構成または互換性エラーが存在します。





- 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないか確認します（91 ページ参照）。
- 取り付けるメモリモジュールがコンピュータと互換性があるか確認します（91 ページ参照）。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（106 ページ参照）。



その他の障害が発生しました。

- ハードドライブ、CD ドライブ、および DVD ドライブからシステム基板へのケーブルが正しく接続されているか確認します（83 ページ参照）。
- 問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください（106 ページ参照）。

- = 黄色
- = 緑色
- = オフ

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
 A B C D	POST 後、コンピュータは通常の動作状態にあります。	特にありません。
 = 黄色  = 緑色  = オフ		

Dell Diagnostics (診断) プログラム

Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用するとき

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、33 ページの「問題の解決」にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行してください。Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行することによって、デルにお問い合わせをしなくても問題を解決できる場合があります。デルにお問い合わせになる場合、テストの結果はデルのサポート担当者に重要な情報を提供します。

Dell Diagnostics (診断) プログラムでは、以下のことが可能です。

- 1 つまたはすべてのデバイスのクイックテスト、全体テスト、またはカスタムテストの実行
- 発生している問題の症状に基づいたテストの選択
- テストが実行される回数の選択
- テスト結果の表示
- エラーが検出された場合のテストの中断
- テストとデバイスについて説明したオンラインヘルプ情報へのアクセス
- テストが正常に終了したかどうかを知らせるステータスメッセージの表示
- 問題が検出された場合のエラーメッセージの表示

Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動

- ➡ 注意：Dell Diagnostics (診断) プログラムは、Dell™ コンピュータ専用です。このプログラムを別のコンピュータで使用すると、エラーメッセージが表示されます。

ハードドライブ (63 ページ参照) または『Dell Dimension ResourceCD』(63 ページ参照) から Dell Diagnostics (診断) プログラムを起動します。

ハードドライブからの Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動

- 1 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

- 📌 メモ：Diagnostics (診断) プログラムユーティリティパーティションが検出されませんというメッセージが表示された場合、手順に従って Dell Diagnostics (診断) プログラムを『ResourceCD』から実行します (63 ページ参照)。

ここで時間をおきすぎて、Microsoft® Windows® のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**Boot to Utility Partition** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 Dell Diagnostics (診断) プログラムの Main Menu が表示されたら、実行するテストを選びます (64 ページ参照)。

ResourceCD からの Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動

- 1 『ResourceCD』を CD ドライブに挿入します。
- 2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて、Windows のロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、**スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。


- 📌 メモ：この機能は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

- 3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**IDE CD-ROM Device** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 CD の起動メニューから **IDE CD-ROM Device** オプションを選びます。

- 5 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選びます。
- 6 1 と入力して『ResourceCD』のメニューを起動します。
- 7 2 と入力して Dell Diagnostics (診断) プログラムを起動します。
- 8 番号の付いた一覧から **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選びます。複数のバージョンが表示されている場合、お使いのプラットフォームに該当するバージョンを選びます。
- 9 Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます (64 ページ参照)。

Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

- 1 Dell Diagnostics (診断) プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

 **メモ**：お使いのコンピュータのサービスタグナンバーは、各テスト画面の一番上にあります。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常、このテストは 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定することができます。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常、このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト中に問題を検出すると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録して、画面の指示に従います。
エラーが解決できない場合、デルにお問い合わせください (106 ページ参照)。

3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	発生したエラーの状態、エラーコード、および問題の説明を表示します。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics （診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、および様々な内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧にその情報を表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 『ResourceCD』から **Dell Diagnostics**（診断）プログラムを実行している場合、テストが終了したら、CD を取り出します。
- 5 テスト画面を閉じ、**Main Menu** 画面に戻ります。**Dell Diagnostics**（診断）プログラムを終了して、コンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

デバイスに問題が起こった場合、次項にある手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じて、ドライバをアップデートしてください。

ドライバの確認

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **コントロールパネル** ウィンドウの **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **パフォーマンスとメンテナンス** ウィンドウで、**システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 **デバイスマネージャ** ウィンドウで一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[!] の付いた黄色い丸）が付いているものがないかを確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

ドライバの再インストール

➡ 注意：デルサポートウェブサイトおよび『Dell Dimension ResourceCD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP のデバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

デバイスドライバのロールバックを使用するには …

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **コントロールパネル** ウィンドウの **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **パフォーマンスとメンテナンス** ウィンドウで、**システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 **デバイスマネージャ** ウィンドウで、新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元（69 ページ参照）を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。

Dell Dimension ResourceCD の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（69 ページ参照）で問題を解決できない場合、『Dell Dimension ResourceCD』からドライバを再インストールします。

- 1 Windows のデスクトップ画面で、『ResourceCD』を CD または DVD ドライブに挿入します。
初めて『ResourceCD』をお使いになる場合、手順 2 へ進みます。それ以外の場合、手順 5 へ進みます。
- 2 **ResourceCD Installation** プログラムが起動したら、**OK** をクリックし、プログラムをインストールして、画面の指示に従います。
- 3 **InstallShield ウィザードの完了** ウィンドウが表示されたら、『ResourceCD』を取り出し、**完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。
- 4 Windows のデスクトップが表示されたら、『ResourceCD』を CD または DVD ドライブに再度挿入します。
- 5 **Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます。**画面で、**次へ** をクリックします。



メモ：『ResourceCD』には、コンピュータに付属のハードウェアのドライバのみが表示されません。新たにハードウェアを取り付けた場合、この新しいハードウェアのドライバは『ResourceCD』には表示されません。その場合、『ResourceCD』プログラムを閉じます。ドライバについては、デバイスに付属しているマニュアルを参照してください。


『ResourceCD』がコンピュータのハードウェアを検出中というメッセージが表示されます。

コンピュータで使用されているドライバが、自動的にメッセージウィンドウに表示されます。

- 6 再インストールするドライバをクリックして、画面の指示に従います。
ドライバが一覧にない場合、そのドライバはお使いのオペレーティングシステムに必要ありません。

システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows XP ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。


 **注意：**データファイルのバックアップを定期的に作成しましょう。システムの復元は、データファイルを監視したり、復元することはできません。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、問題を解決するには、デバイスドライバのロールバック（67 ページ参照）を使用します。失敗した場合、システムの復元を使用します。

 **注意：**コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール**の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを復元するカレンダーの日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを表示して選択できるカレンダーが表示されます。復元ポイントを使用できる日付は、すべて太字で表示されます。

- 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

日付の中に復元ポイントが 1 つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用できる場合、使用する復元ポイントをクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更する場合、別の復元ポイントを使用して手順を繰り返したり、復元を元に戻すことができます。

最後のシステムの復元を元に戻す

➡ **注意**：最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** の順にポイントして、**システムの復元** をクリックします。

2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

3 **次へ** をクリックします。

システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

4 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

システムの復元を有効にする

空き容量が 200 MB 以下のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには …

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。

3 **システム** をクリックします。

4 **システムの復元** タブをクリックします。

5 **すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違っていて設定されている場合、Windows XP の IRQ コンフリクトが発生しています。

Windows XP を実行しているコンピュータでコンフリクトを調べるには…

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックして、**システム** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 **デバイスマネージャ** の一覧で、他のデバイスとのコンフリクトを調べます。

コンフリクトの起こっているデバイスの横には黄色の感嘆符 (!) が付いていますので、コンフリクトが確認できます。赤色の x 印が付いている場合、デバイスが無効になっています。

- 5 コンフリクトの起こっているデバイスのいずれかをダブルクリックして、**プロパティ** ウィンドウを開きます。

IRQ コンフリクトが起こっている場合、**プロパティ** ウィンドウの **デバイスの状態** 領域に、デバイスの IRQ を共有しているカードまたはデバイスが表示されます。

- 6 **デバイスマネージャ** からデバイスを再設定または削除して、コンフリクトを解決します。

Microsoft® Windows® XP の再インストール

はじめに


新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、まず最初に Windows XP のデバイスドライバのロールバック (67 ページ参照) を使います。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元 (69 ページ参照) を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。



注意: この手順を実行する前に、お使いのプライマリハードドライブのすべてのデータファイルをバックアップします。通常のハードドライブ構成では、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell 『ResourceCD』

 **メモ：**『ResourceCD』には、コンピュータの製造過程でプリインストールされたドライバが収録されています。『ResourceCD』を使って、必要なすべてのドライバをロードします。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項で記載されている手順を順番通りに実行します。

再インストール処理を完了するには、1～2時間程かかります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

- ➡ **注意：**『オペレーティングシステム CD』では、Windows XP の再インストール用のオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。
- ➡ **注意：**Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

オペレーティングシステム CD からの起動

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。Install Windows XP というメッセージが表示された場合、**終了** をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動します。
- 4 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。
オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
- 5 矢印キーを押して **CD-ROM** を選び、<Enter> を押します。
- 6 Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows XP のセットアップ

- 1 **セットアップの開始** 画面が表示されたら、<Enter> を押します。
- 2 **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、<F8> を押して、使用許諾契約書に同意します。
- 3 お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合、**r** と入力して修復オプションを選び、CD を取り出します。
- 4 新たに Windows XP をインストールする場合、<Esc> を押してオプションを選択します。
- 5 <Enter> を押してハイライト表示されたパーティションを選び（推奨）、画面の指示に従います。

Windows XP セットアップ 画面が表示され、オペレーティングシステムは、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータが数回自動的に再起動します。



メモ：ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は異なります。




注意：Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。

- 6 **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、お住まいの地域の設定を選択して、**次へ** をクリックします。
- 7 **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力してから、**次へ** をクリックします。
- 8 Windows XP Home Edition を再インストールする場合、**コンピュータ名は何ですか？** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名を入力（または記載の名前を承認）して、**次へ** をクリックします。
Windows XP Professional を再インストールする場合、**コンピュータ名と Administrator** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名（または記載の名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。
- 9 **モデムのダイヤル情報** 画面が表示されたら、必要な情報を入力して、**次へ** をクリックします。
- 10 **日付と時刻の設定** ウィンドウに日付と時刻を入力して、**次へ** をクリックします。

- 11 **ネットワークの設定** 画面が表示されたら、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 12 **Windows XP Professional** を再インストールし、ネットワーク設定に関するネットワーク情報を入力するよう求められた場合、ご自分の設定を入力します。設定がわからない場合、デフォルトの選択肢を選びます。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールして、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動します。

 **注意** : Press any key to boot from the CD というメッセージが表示されますが、どのキーも押さないでください。


- 13 **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 14 **インターネットに接続する方法を指定してください** というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。
- 15 **Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？** 画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選んでから、**次へ** をクリックします。
- 16 **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** 画面が表示されたら、5名までユーザーを入力できます。
- 17 **次へ** をクリックします。
- 18 **完了** をクリックし、セットアップを完了して、CD を取り出します。
- 19 『ResourceCD』を使って、適切なドライバを再インストールします (67 ページ参照)。
- 20 アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。
- 21 使用するプログラムを再インストールします。

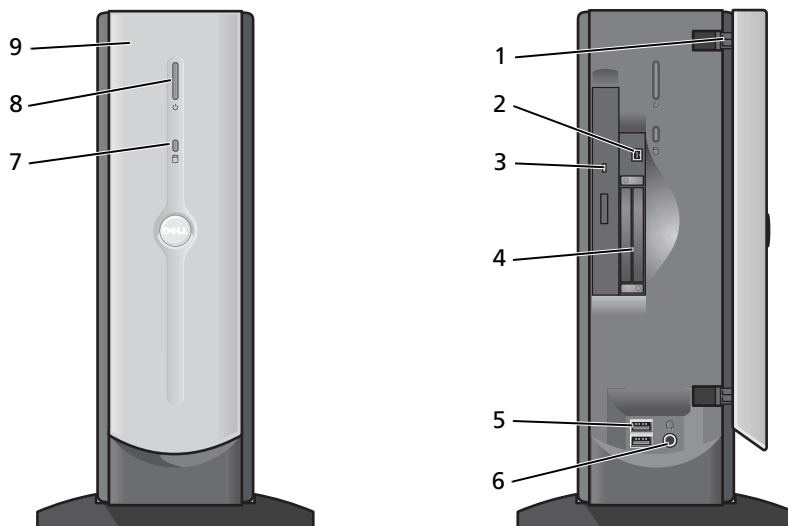
 **メモ** : Microsoft Office または Microsoft Works Suite プログラムを再インストールして有効にするには、Microsoft Office または Microsoft Works Suite の CD ケースの裏面にある Product Key (プロダクトキー) ナンバーが必要です。

部品の拡張および交換

コンピュータの正面および背面

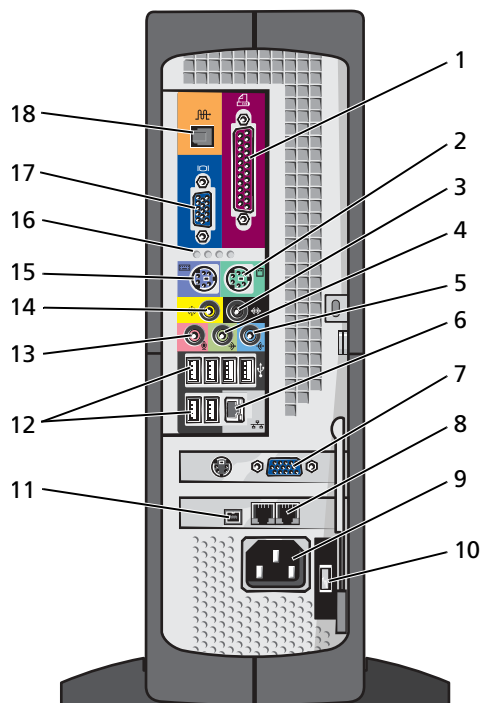
正面図

 メモ：特定の PC カード、IEEE 1394、USB、またはヘッドフォンコネクタを使用している場合、正面パネルドアは閉まりません。



1	分離ヒンジ (2)	お使いのコンピュータへの損傷を防ぐため、正面ドアは大きく開くとドアが「外れる」ように設計されています。再度、正面ドアを取り付けるには、79 ページを参照してください。
2	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなどの高速シリアルマルチメディアデバイスを取り付けます。 (この機能は、オプションの IEEE 1394 コネクタを搭載したコンピュータでのみ利用可能です。)
3	CD または DVD ドライブ動作ライト	ドライブ動作ライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
4	PC カードコネクタ (2)	PC カードを PC カードコネクタに接続します (コンピュータがオプションの PC カードに対応している場合)。16 ビット PCMCIA カードにのみ PC カードコネクタを使用します。32 ビット CardBus は使用しないでください。
5	USB 2.0 コネクタ (2)	ジョイスティックまたはカメラなど時々接続するデバイスは、正面の USB コネクタを使用します。 プリンタおよびキーボードなど通常接続したままのデバイスは、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。 注意：このコンピュータは USB ハブの使用をサポートしています。ただし、2 つ以上の USB ハブを USB コネクタに接続することはできません。コンピュータが突然再起動をおこなう原因になる場合があります。 メモ：コンピュータとは別に購入した USB デバイスを取り付ける場合、特定のドライバをインストールする必要がある場合があります。詳細については、デバイスに付属しているマニュアルを参照するか、USB デバイスの製造元へお問い合わせください。
6	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンおよびほとんどの種類のスピーカーを取り付けることができます
7	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブ動作ライトは、コンピュータがハードドライブからデータを読み書きする際に点灯します。このライトは、CD プレーヤーなどのデバイスが動作している際も点灯する場合があります。
8	電源ボタン	電源ボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。 注意：データの損失を防ぐため、電源ボタンを押してコンピュータの電源を切らないでください。電源ボタンを押す代わりに、オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。
9	正面ドア	正面パネルのコネクタを使用するときにドアを開きます。 メモ：正面ドアは取り外し可能です。ドアを取り外した場合や、誤ってヒンジから外れてしまった場合でも、元の位置に取り付けることができます。ドアの取り付け方法については、79 ページを参照してください。

背面図



1	パラレルコネクタ	プリンタなどのパラレルデバイスをパラレルコネクタに接続します。USB プリンタを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
2	マウスコネクタ	標準型マウスを使用している場合、緑色のマウスコネクタにマウスケーブルを差し込みます。コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスの電源を切ってから、マウスをコンピュータに接続します。USB マウスを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
3	サウンドコネクタ	黒色のサウンドコネクタを使用して、マルチチャンネル対応スピーカーを取り付けます。 (サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。)
4	ライン出力コネクタ	緑色のライン出力コネクタにヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型スピーカーを接続します。 (サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。)

5	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、または VCR（ビデオカセットレコーダー）などの録音 / 再生デバイスを接続します。（サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。）
6	ネットワークアダプタコネクタ	<p>コンピュータをネットワークやモデムに取り付けるには、ネットワークケーブルの片方の端をネットワークジャックやネットワークデバイスに接続します。ネットワークケーブルのもう片方の端を、コンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。カチッと収まるまで、ネットワークケーブルをしっかりと接続します。</p> <p>ネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。</p> <p>カテゴリ 5 のケーブルを使用して、ネットワークを接続することをお勧めします。カテゴリ 3 のケーブルを使用する必要がある場合、ネットワーク速度を 10 Mbps にして動作の信頼性を確保します。</p>

ネットワーク
ジャック



モデムジャック

7	オプションのビデオカードコネクタ	モニターのケーブルをビデオカードコネクタに接続します。（この機能は、オプションのビデオカードを搭載したコンピュータでのみ利用可能です。）
8	モデムコネクタ (2)	モデムコネクタを使用して、コンピュータをインターネットに接続します。
9	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
10	電圧切り替えスイッチ（コンピュータによっては付いていない場合もあります）	お使いのコンピュータには、自動電圧セレクタ、または手動電圧切り替えスイッチが付いています。詳細については、9 ページの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。
11	IEEE 1394 コネクタ	デジタルビデオカメラなどの高速シリアルマルチメディアデバイスを取り付けます。（この機能は、オプションの IEEE 1394 コネクタを搭載したコンピュータでのみ利用可能です。）
12	USB 2.0 コネクタ (6)	プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスは、背面の USB コネクタを使用します。 ジョイスティックやカメラなど時々接続するデバイスは、正面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
13	マイクコネクタ	ピンク色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。

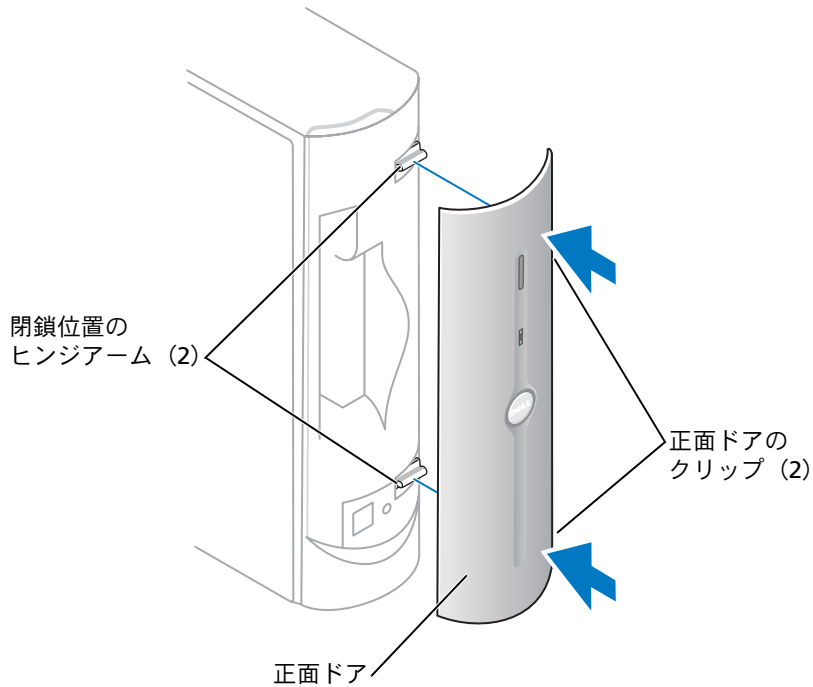
14 センター / LFE コネクタ	黄色のセンター / LFE コネクタを使用して、サブウーハーに取り付けます（内蔵サウンドを搭載したコンピュータで利用可能）。 （サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合、カードのコネクタを使用します。）
15 キーボードコネクタ	標準型キーボードを使用している場合、紫色のキーボードコネクタに差し込みます。USB キーボードを使用している場合、USB コネクタに差し込みます。
16 診断ライト（4）	診断ライトは、Diagnostic（診断）コードに基づき、コンピュータの問題を解決するのに役立ちます。詳細については、57 ページを参照してください。
17 内蔵ビデオコネクタ	このコネクタに保護キャップが被さっている場合、コンピュータにオプションのビデオカードが取り付けられています。保護キャップが被さっていない場合、モニターのケーブルを青色のコネクタに差し込みます。
18 SPDIF 出力コネクタ	このコネクタを使用して、デジタルオーディオ信号をアンプ、ミニディスク、およびその他の SPDIF 入力互換装置に送ります。

正面ドアの取り付け

コンピュータへの損傷を防ぐため、正面ドアは大きく開くと「外れる」ように設計されています。正面ドアを再度取り付けるには …

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（31 ページ参照）。
 - 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられたデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  **注意：** ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
 - 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
-  **メモ：** ヒンジアームを閉鎖位置に移動すると、ヒンジアームの上部でカチッと収まりますが、ヒンジアームの底部ではカチッという感触はありません。
- 5 ヒンジアームを閉鎖位置に移動します。
 - 6 正面ドアの内側にある 2 つのクリップを 2 本のヒンジアームに合わせます。

- 7 正面ドアが両方のヒンジアームにカチッと収まるまで、ドアを内側に押します。




コンピュータカバーを開く


⚠ 警告: 9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
- ➡ **注意:** ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。


4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

5 コンピュータスタンドが取り付けられている場合、コンピュータスタンドを取り外します（18 ページ参照）。


 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

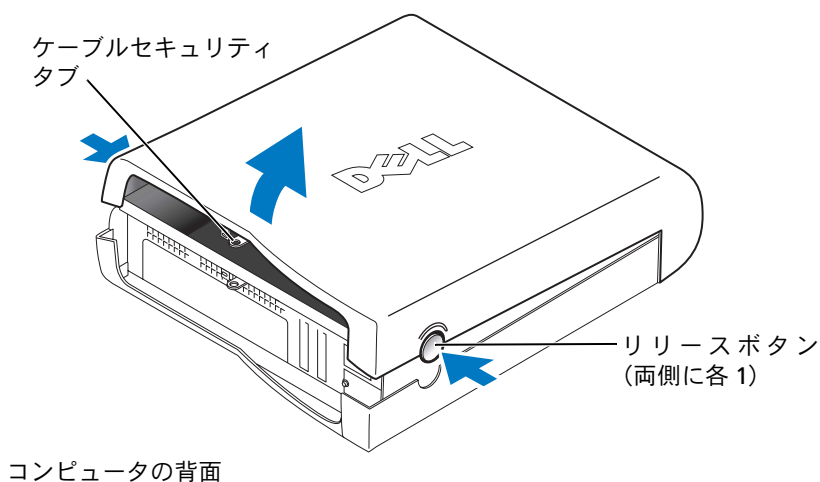
 注意：開いたカバーを置く十分なスペースがあることを確認します。少なくとも机上に 30 cm のスペースが必要です。

6 2つのリリースボタンの位置を以下の図に示します。2つのリリースボタンを押して、カバーを持ち上げます。




 注意：ケーブルに損傷を与えないように、ゆっくりとカバーを開きます。

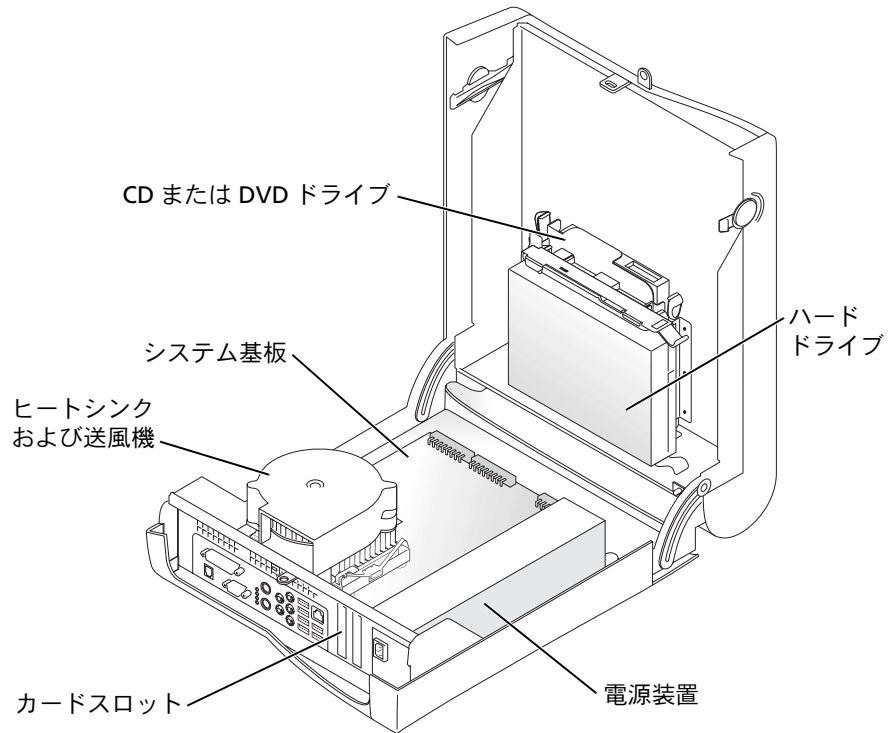
7 カバーの後部を持ち上げ、コンピュータの前面方向へ回します。

 メモ：図に示されているように、コンピュータはケーブルセキュリティタブを上にして置いてください。

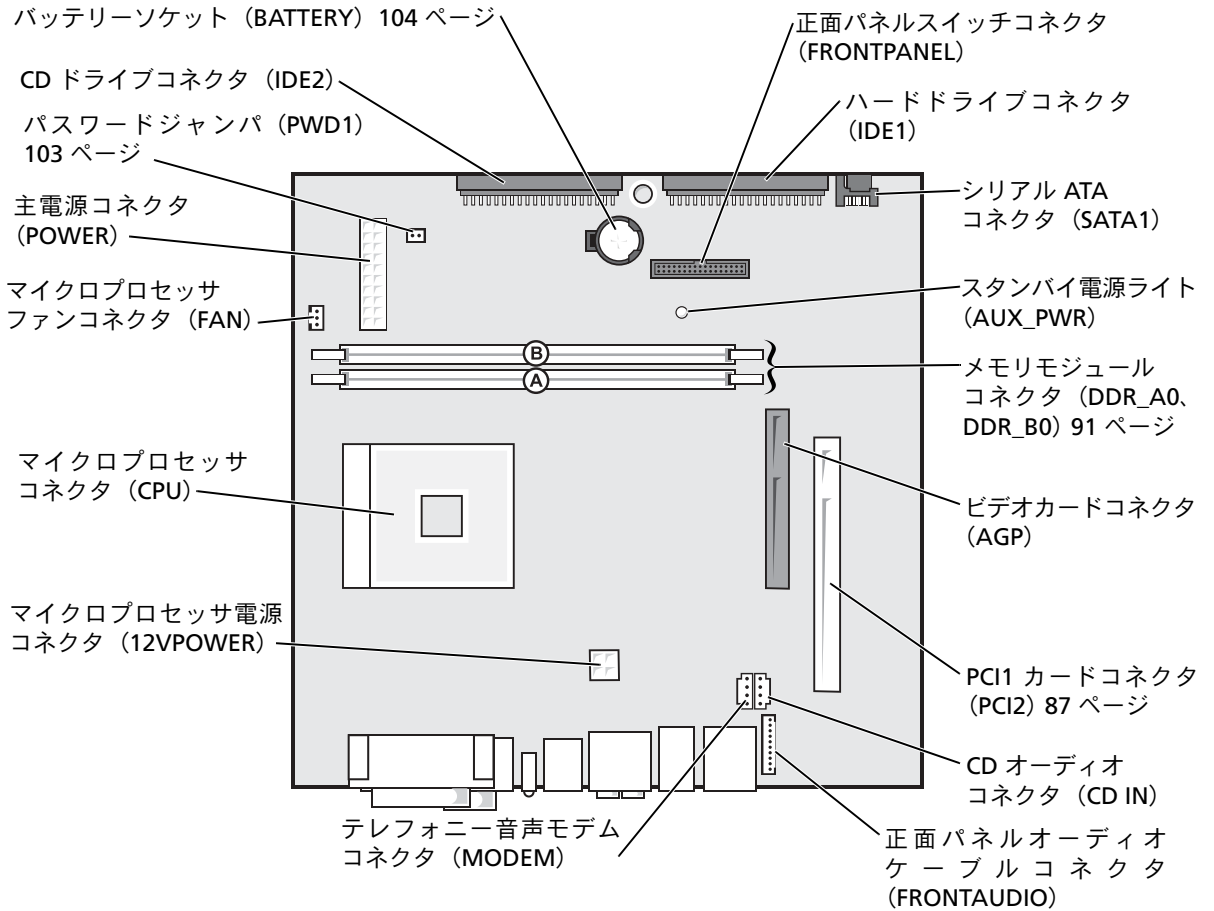


コンピュータの内部

-  警告：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。
-  警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  注意：コンピュータカバーを開く際に、ケーブルをシステム基板から外してしまうことがないように注意してください。




システム基板




コンピュータの背面

PC カードの取り付け（オプション）


 **警告：**9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

内蔵 PC カードコネクタが搭載されているコンピュータには、PC カードを増設することができます。

PC カードのタイプ

 **メモ：**カードの「Type」とは厚みによる分類で、機能とは関係ありません。


PC カードには 2 つのコネクタがあり、4 種類のカードの組み合わせをサポートしています。

 **メモ：**お使いのコンピュータは、5 V または 3.3 V の 16 ビット PCMCIA カードのどちらかに対応しています。カードの中には、3.3 V に設計されており、PC スロットに対応していないものもあります。また、カードは間違った方向に挿入できないよう設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

- Type I または Type II カード 1 枚（上部または下部 PC カードコネクタを使用）
- Type I カード 1 枚と Type II カード 1 枚（両方のコネクタを使用）
- Type I カード 2 枚または Type II カード 2 枚
- Type III カード 1 枚（下部コネクタを使用）


PC カードコネクタは両方とも拡張型 PC カードをサポートします。

PC カードの取り付け

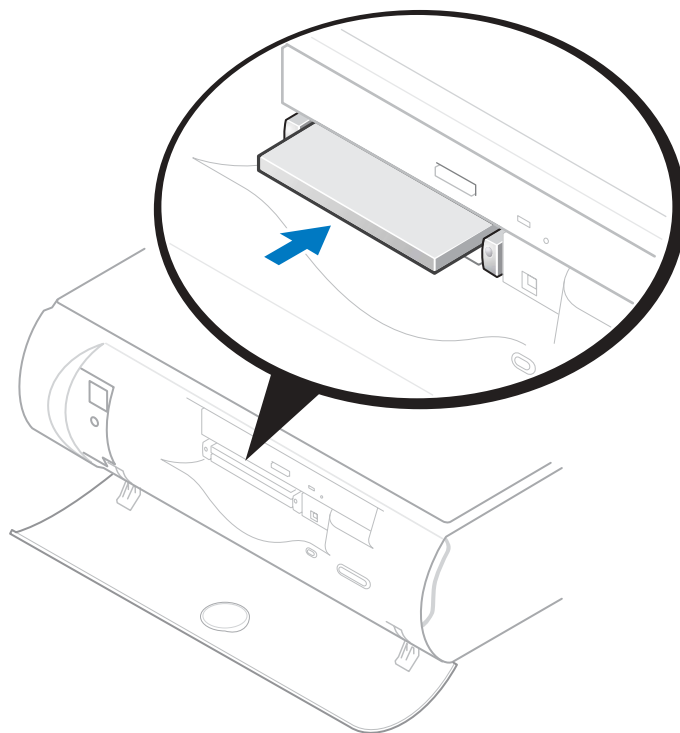
 **メモ：**PC カードの長さによっては、正面パネルドアが閉まらない場合があります。

PC カードには通常、スロットに挿入する方向を示す印（三角形や矢印など）が描かれています。また、カードは間違った方向に挿入できないよう設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属しているマニュアルを参照してください。

- 1 カード上面を上にして、挿入方向を示す印がスロットを指すようにカードを持ちます。

 **メモ：**PC カードは起動デバイスではありません。

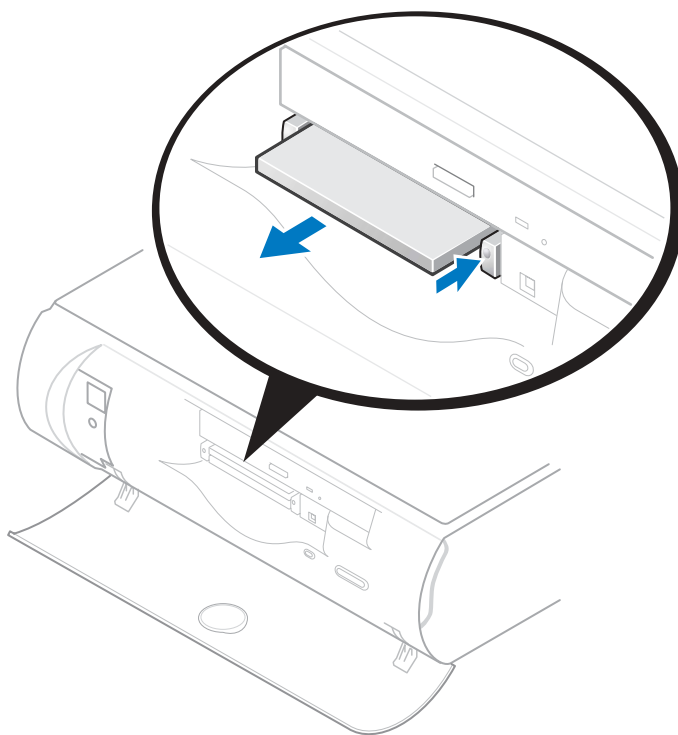
- 2 カードをスロットに挿入し、内蔵 PC カードコネクタにカードが完全に装着するまで、カードをしっかりと押し込みます。




- 3 カードを挿入した際にうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まないでください。カードの方向を確認して、もう一度挿入します。
- 4 お使いのコンピュータはほとんどの PC カードを認識し、自動的にコンピュータの使用に適したデバイスドライバをロードします。設定プログラムで、製造元のドライバをロードする指示が画面に表示された場合は、PC カードに付属している CD を使用してドライバをインストールします。


PC カードの取り外し

- ➡ 注意：タスクバーにある PC カードの設定ユーティリティを使って、カードを選んで機能を停止してから、カードをコンピュータから取り外します。設定ユーティリティを使ってカードを取り外さなかった場合、開いているプログラムのデータを損失する恐れがあります。
- 📌 メモ：上部スロットにあるカードを取り出すには、上に点の付いているボタンを押し、下部スロットにあるカードを取り出すには、下に点の付いているボタンを押しします。
- ➡ 注意：ドングルが付いている場合は、ドングルを引っ張ってカードを取り出さないでください。取り出しボタンを押して、カードを慎重に取り出します。




その他のカードの取り付け

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


 **注意**：お使いのコンピュータにはロープロファイルカードをお使いください。フルサイズのカードは、コンピュータやカードに損傷を与える恐れがあります。

コンピュータのカードコネクタを使って、モデムおよびネットワークアダプタなどの異なるタイプのデバイスを取り付けることができます。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。

 **注意**：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
- 5 コンピュータスタンドを取り外します (18 ページ参照)。

 **警告**：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 6 コンピュータカバーを開きます (80 ページ参照)。
- 7 保持アームのレバーを押して、保持アームを持ち上げます。
- 8 新しいカードを取り付ける場合、空のカードスロット開口部用のフィラーブラケットを取り外します。

既にコンピュータに取り付けられたカードを交換する場合は、そのカードを取り外します。必要に応じて、カードに取り付けられているケーブルを外します。カードの上端を持って、コネクタから取り外します。

- 9 取り付けるカードを用意します。

カードの設定、内部の接続、またはお使いのコンピュータに合わせたカードのカスタマイズの情報については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。



警告：ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動するものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。

- 10 カードをカードコネクタに挿入します。

カードがフルレングスの場合、システム基板にあるカードコネクタの方にカードを下げて、カードの端をカードガイドブラケットに挿入します。カードをライザーボードのカードコネクタにしっかりと挿入します。

- 11 保持アームを下ろして所定の位置に押し込み、カードをコンピュータに固定します。

- 12 前の手順で取り外したすべてのケーブルを接続します。

- 13 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。

カードのケーブル接続については、カードのマニュアルを参照してください。



注意：カードケーブルは、カードの上や後ろを通して配線しないでください。ケーブルをカードの上を通して配線すると、コンピュータカバーが正しく閉まらなくなったり、装置に損傷を与える恐れがあります。

- 14 コンピュータカバーを閉じます（96 ページ参照）。

- 15 コンピュータスタンドを取り付けます（18 ページ参照）。





注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

- 16 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。


- 17 カードのマニュアルにある説明に従い、必要なドライバをすべてインストールします。


ビデオカードの取り付けまたは取り外し

 **警告：**9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

 **注意：**お使いのコンピュータにはロープロファイルカードをお使いください。フルサイズのカードは、コンピュータやカードに損傷を与える恐れがあります。

お使いの Dell™ コンピュータには、AGP カード用のコネクタが搭載されています。

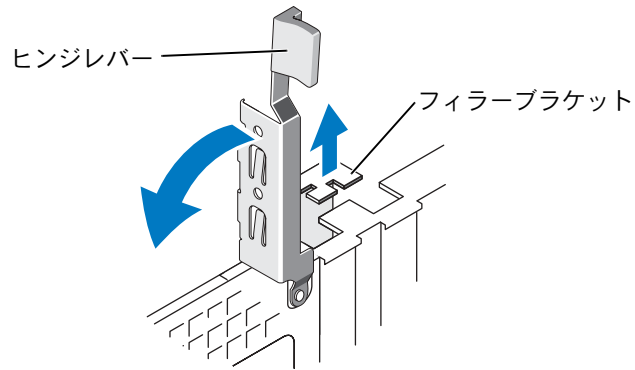
- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
- 5 コンピュータスタンドを取り外します (18 ページ参照)。

 **警告：**感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

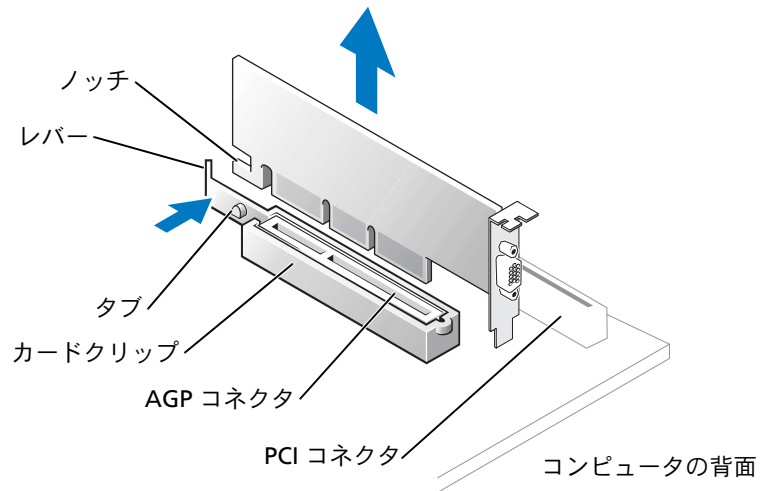
- 6 コンピュータカバーを開きます (80 ページ参照)。

ビデオカードの取り外し




- 1 ヒンジレバーを持ち上げ、フィラーブラケットを上へスライドして、フィラーブラケットを取り外します。



- 2 PCI コネクタの方へカードレバーを押します。
- 3 カードを引き上げて、カードクリップから取り出します。




ビデオカードの取り付け

-  メモ：オプションのビデオカードをご購入された場合、モニターケーブルが適切なビデオコネクタに取り付けられていることを確認します。
-  注意：お使いのコンピュータにはロープロファイルカードをお使いください。フルサイズのカードは、コンピュータやカードに損傷を与える恐れがあります。
 - 1 カードを増設または交換するには、カードレバーを PCI コネクタの方へ押し、AGP コネクタにカードがカチッと所定の位置に装着されるまで、慎重にカードを押し込みます。
 - 2 カードのレバーを外し、カードのレバーにあるタブがカード前面の端にあるノッチと合っていることを確認します。
 - 3 背面パネルにあるヒンジレバーを下げて、カードを固定します。
 - 4 コンピュータカバーを閉じます（96 ページ参照）。
 - 5 コンピュータスタンドを取り付けます（18 ページ参照）。
 - 6 モニターケーブルをカードのビデオコネクタに接続します。
-  注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 7 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。


メモリの増設

システム基板にメモリモジュールを取り付けることにより、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリのタイプについては、98 ページの「メモリ」を参照してください。

-  メモ：800 MHz のフロントサイドバスで使用すると、DDR 333 メモリは320 MHz で動作します。

DDR メモリの概要


DDR メモリモジュールは、必ず同じメモリサイズのものを 2 枚 1 組のペアで取り付ける必要があります。つまり、128 MB のメモリを搭載したコンピュータをお買い上げになり、新たに 128 MB のメモリを増設する場合、128 MB のメモリをペアにして適切なコネクタに装着します。DDR メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けしていない場合、コンピュータは動作しますが、性能が少し落ちます。


-  メモ：必ず、システム基板に示されている順番で DDR メモリモジュールを装着してください。

推奨されるメモリ構成は、以下のとおりです。

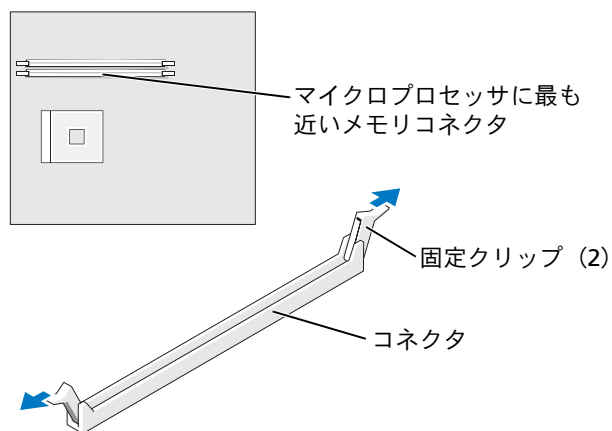
- 同じ容量を持つメモリモジュールのペアをコネクタ DDR_A0 および DDR_B0 に装着します。
- ECC メモリモジュールを装着しないでください。
- 別のコネクタにメモリモジュールを装着する前に、DDR_A0 またはプロセッサに最も近いコネクタに単一メモリモジュールを装着していることを確認してください。
- ➡ **注意：**メモリのアップグレード中にコンピュータから元のメモリを取り外した場合、新しく装着するモジュールをデルからお買い上げになったとしても、元のメモリを新しいメモリとは別に保管してください。元のメモリモジュールは、コネクタ DDR_A0 と DDR_B0 に必ずペアで装着します。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。元のメモリモジュールと新しいものをペアにすると、コンピュータが最適な性能で機能しないことがあります。
- 📄 **メモ：**デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象に含まれます。

メモリの取り付け

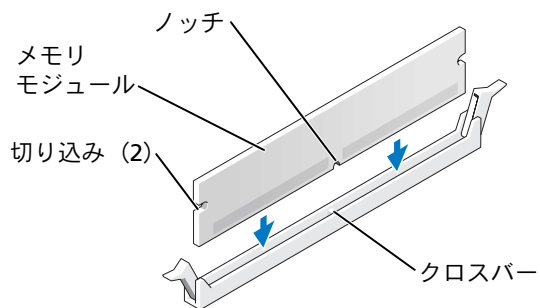
 **警告：**9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
- 5 コンピュータスタンドを取り外します (18 ページ参照)。
-  **警告：**感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 6 コンピュータカバーを開きます (80 ページ参照)。

- 7 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。

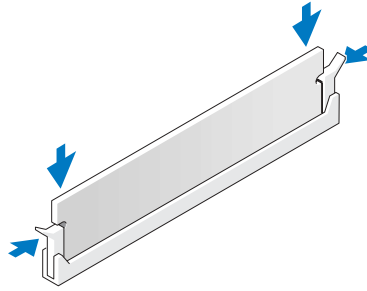


- 8 メモリモジュールの底部にあるノッチと、コネクタのクロスバーを合わせます。




- ⓘ 注意: メモリモジュールへの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力を加えて、モジュールをコネクタに向けてまっすぐ下へ挿入します。


- 9 メモリモジュールをカチッと所定の位置に収まるまで、しっかりと押し込みます。
メモリモジュールが正しく装着されると、固定クリップがカチッとメモリモジュールの両端にある切り込みに収まります。




- 10 コンピュータカバーを閉じます (96 ページ参照)。
- 11 コンピュータスタンドを取り付けます (18 ページ参照)。
- ⓘ 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 12 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 13 **マイコンピュータ** アイコンを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
- 14 **全般** タブをクリックします。
- 15 表示されているメモリ (RAM) の容量を確認して、メモリが正しく装着されているか確認します。

メモリの取り外し


 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

 **メモ**：デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証の対象に含まれます。

- 1 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（31 ページ参照）。
- 2 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。

 **注意**：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。


- 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから取り外します。
- 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
- 5 コンピュータスタンドを取り外します（18 ページ参照）。

 **警告**：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 6 コンピュータカバーを開きます（80 ページ参照）。
- 7 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。
- 8 モジュールをつかみ、引き出します。

モジュールが取り外しにくい場合は、軽くモジュールを前後に動かしてコネクタから取り外しやすくします。

コンピュータカバーを閉じる


- 1 すべてのケーブルが接続されているか確認し、ケーブルをまとめておきます。
ドライブの下に電源ケーブルが挟まれないように、電源ケーブルを軽く手前に引き
ます。
- 2 コンピュータ内部にツールや余分な部品が残っていないか確認します。
- 3 カバーを閉じます。
 - a カバーを回して閉じます。
 - b カバーの右側が閉まるまで押し下げます。
 - c カバーの左側が閉まるまで押し下げます。
 - d カバーの両側がロックされたことを確認します。ロックされなかった場合、手順
3 を繰り返します。
-  注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワー
クジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
- 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

付録

仕様

マイクロプロセッサ

マイクロプロセッサのタイプ	HT テクノロジ Intel® Pentium® 4 または Intel Celeron®
L1 キャッシュ	8 KB 1st レベル
L2 キャッシュ	256 KB、512 KB または 1 MB パイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエイティブ、ライトバック SRAM

 **メモ:** すべての Pentium4 プロセッサがハイパースレディングテクノロジーをサポートしている訳ではありません。

システム情報

システムチップセット	Intel 865G
DMA チャンネル	4
割り込みレベル	24 APIC モード
システム BIOS チップ	4 Mb (512 KB)
システムクロック	400、533、または 800 MHz データ転送速度

拡張バス

バスタイプ	PCI および AGP
バス処理速度	PCI : 33 MHz
AGP	AGP 1 倍速、4 倍速、8 倍速
AGP コネクタ	ロープロファイル × 1
AGP コネクタサイズ	172 ピン
AGP コネクタデータ幅 (最大)	32 ビット
AGP ビデオバスプロトコル	1.5 V で 4 倍速モード

拡張バス (続き)	
PCI コネクタ	ロープロファイル × 1
PCI コネクタサイズ	120 ピン
PCI コネクタデータ幅 (最大)	32 ビット
メモリ	
アーキテクチャ	DDR SDRAM
メモリコネクタ	2
メモリ容量	128、256、512 MB、および 1 GB 非 ECC DDR SDRAM
最小メモリ	256 MB
最大メモリ	2 GB
メモリのタイプ	333 MHz DDR SDRAM (非 ECC)
ドライブ	
フロントドライブベイ	スリムラインオプティカルベイ × 1 スリムライン 3.5 インチベイ × 1
内蔵ベイ	1 インチ高 IDE ハードドライブ用ベイ × 1
ポートとコネクタ	
外部接続:	
パラレル	25 ピンコネクタ (双方向)
IEEE 1394	4 ピン電力供給なしコネクタ × 2 (メス)
ビデオ	15 ピンコネクタ
キーボード	6 ピンミニ DIN コネクタまたは USB コネクタ
マウス	6 ピンミニ DIN コネクタまたは USB コネクタ
USB	USB 2.0 準拠コネクタ × 8 (正面パネルに 2 つと背面パネルに 6 つ)
ヘッドフォン	ライン出力用正面パネルミニコネクタ
オーディオ	5 背面ミニコネクタ (ライン入力、ライン出力、マイク、サラウンド、 およびセンター / LFE チャンネル)
ネットワーク	RJ-45 コネクタ

ポートとコネクタ (続き)

内部接続:

プライマリ IDE チャンネル	PCI ローカルバス上の 40 ピンコネクタ
セカンド IDE チャンネル	PCI ローカルバス上の 40 ピンコネクタ
シリアル ATA	7 ピンコネクタ × 1

ビデオ

ビデオコントローラ	Intel 内蔵 AGP グラフィック (ロープロファイル AGP ビデオカードもサポート) 4 倍速および 8 倍速
-----------	---

オーディオ

オーディオコントローラ	ADI 1980
-------------	----------

ネットワーク

ネットワークコントローラ	内蔵 10/100 Ethernet
--------------	--------------------

ボタンとライト

電源ボタン	押しボタン
電源ライト	電源ボタン上に緑色のライトスリープ状態の場合は緑色に点滅、コンピュータに電源が入っている場合は緑色に点灯
ハードドライブライト	緑色
Diagnostic (診断) コードライト	黄色と緑色のライト × 4 (背面パネル上)

電源

DC 電源装置:

ワット数	160 W
熱消費	546 BTU (モニターなし、コンピュータフル装備の場合)

電圧 (電圧設定に関する重要な情報については、10 ページを参照) 50/60 Hz で 100 V

バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型バッテリー
-------------	----------------------

サイズと重量

高さ × 幅 × 奥行	32.3 × 9.5 × 35.6 cm
(スタンド付き)	33.8 × 18.0 × 35.6 cm
重量	7.43 kg

環境

温度：

使用時	10 ° ~ 35 °C メモ：35 °C で最大動作高度は 914 m
-----	---

保管時	- 40 ° ~ 65 °C
-----	----------------

相対湿度	20 % ~ 80 % (結露しないこと)
------	-----------------------

最大振動：

使用時	0.25 G (3 ~ 200 Hz 1/2 オクターブ / 分のとき)
-----	---

保管時	0.5 G (3 ~ 200 Hz 1/2 オクターブ / 分のとき)
-----	--

最大衝撃：

使用時	50.8 cm / 秒の速度変化のポトムハーフ サインパルス
-----	-----------------------------------

保管時	508 cm / 秒の速度変化で 23 G フェアド スクエアウェーブ
-----	--

高度：

使用時	- 15.2 ~ 3,048 m メモ：35 °C で最大動作高度は 914 m
-----	---

保管時	- 15.2 ~ 10,670 m
-----	-------------------

標準設定

セットアップユーティリティには、コンピュータの標準設定が含まれています。



注意：コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動かなくなる可能性があります。

次の図は、セットアップユーティリティのメイン画面の一例です。

Dell - Dimension 4600C			
Intel® Pentium® 4 Processor: <i>nnn</i> GHz		BIOS Version: <i>nnn</i>	
Level 2 Cache: <i>nnn</i> KB Integrated		Service Tag: <i>nnnnnn</i>	
System Time 00:00:00			
System Date DAY/MO/DATE/YR			
Drive Configuration <Enter>			
Boot Sequence <Enter>			
Hard-Disk Drive Sequence <Enter>			
Memory Information <Enter>			
CPU Information <Enter>			
Integrated Devices (LegacySelect Options) <Enter>			
Power Management <Enter>			
System Security <Enter>			
Keyboard NumLock On			
Report Keyboard Errors Report			
Auto Power On Disabled			
Fast Boot On			
OS Install Mode Off			
IDE Hard Drive Acoustics Mode Bypass			
System Event Log <Enter>			
Asset Tag <i>XXXXXX</i>			
↓↑ to select	SPACE, +, - to change	ESC to exit	F1 = Help

設定の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 青色の DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして再度試みます。

セットアップユーティリティ画面


セットアップユーティリティ画面は、お使いのコンピュータの現在の設定情報を表示します。画面上の情報は、5つの領域に分かれます。

- **Title** は、すべての画面の一番上のボックスにあり、コンピュータ名を表示します。
- **Computer data** は、Title ボックスの下にある2つのボックスで、コンピュータプロセッサ、L2 キャッシュ、サービスタグ、および BIOS のバージョン番号を表示します。
- **Options** は、スクロール可能なボックスで、お使いのコンピュータの設定（搭載しているハードウェア、省電力、およびセキュリティ機能など）を示すオプションを一覧表示します。


オプションタイトルの右側のフィールドには、設定や値が表示されています。ご自身で変更できるフィールドは、画面上で明るく表示されます。ご自身で変更できないフィールド（コンピュータによって設定されているため）は、暗く表示されます。<Enter> がオプションタイトルの右側に表示されたら、<Enter> を押して追加オプションのあるポップアップメニューにアクセスします。

- **Key functions** は、画面の一番下にある1列に並んだボックスで、セットアップユーティリティでのキーとキーの機能を表示します。
- **Help** は、<F1> を押すと、選択された（ハイライト表示された）オプションの情報を表示します。


パスワードを忘れたら

 **警告**：9 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。

ユーザーパスワード、またはセットアップパスワードを忘れた場合、忘れたパスワードを消去するまではコンピュータの操作や、セットアップユーティリティの設定を変更できません。

 **注意**：この手順は、システムパスワードおよびセットアップパスワードの両方を消去します。

1 コンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。

 **注意**：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

2 取り付けられているすべてのデバイスの電源を切り、コンセントから外します。

3 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

4 コンピュータスタンドを取り外します (18 ページ参照)。


5 コンピュータカバーを開きます (80 ページ参照)。

6 システム基板の PSWD の位置にあるジャンパ (83 ページ参照) を確認して、ジャンパプラグを取り外します。

7 コンピュータカバーを閉じ (96 ページ参照)、コンピュータをコンセントに接続して、電源を入れます。

既存のパスワードは消去されます。

8 コンピュータをシャットダウンします (31 ページ参照)。

 **注意**：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。

9 取り付けられているすべてのデバイスの電源を切り、コンセントから外します。

10 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。

11 コンピュータカバーを開きます (80 ページ参照)。

12 ジャンパプラグを PSWD のジャンパに再度取り付けます (83 ページ参照)。

13 コンピュータカバーを閉じます (96 ページ参照)。

14 コンピュータスタンドを取り付けます（18 ページ参照）。



注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

15 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

PSWD ジャンパを取り付けた状態でコンピュータの電源を入れると、パスワード機能は再び有効になります。

バッテリーの交換



警告：12 ページにある安全にお使いいただくための注意事項に従い、この項の作業を始めてください。


コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時刻の情報を保持します。バッテリーの寿命は数年です。

コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報を再設定しなければならない場合、バッテリーを交換します。



警告：バッテリーの取り付け方を誤ると、バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーは、必ず同一または同等の、製造元が推奨するタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。

バッテリーを交換するには、次の手順を実行します。

- 1 セットアップユーティリティのすべての画面を記録します（102 ページ参照）。これにより、手順 14 で正しい設定に復元することができます。
 - 2 **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします（31 ページ参照）。
 - 3 コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が切れているか確認します。コンピュータをシャットダウンした際に、コンピュータと取り付けられているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合、ここでそれらの電源を切ります。
-  注意：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
- 4 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
 - 5 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を逃がします。
 - 6 コンピュータスタンドを取り外します（18 ページ参照）。

⚠ 警告：感電を防ぐため、カバーを開く前は必ず、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。

7 コンピュータカバーを開きます（80 ページ参照）。

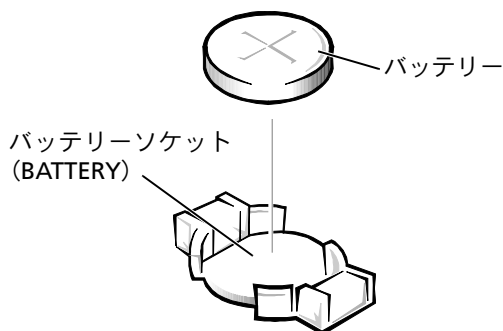
➡ 注意：コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を逃がしてください。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れて、静電気による内部コンポーネントの損傷を防止します。

8 バッテリーソケットの位置を確認します（83 ページ参照）。

➡ 注意：道具（先端の鋭くないもの）を使用してバッテリーをソケットから取り出す際に、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。必ず、バッテリーとソケットの間に道具を確実に挿入してから、バッテリーを取り外してください。これらの手順を踏まないと、バッテリーソケットが外れたり、システム基板の回路を切断するなど、システム基板に損傷を与える恐れがあります。

9 指またはプラスチック製のスクリュードライバなどのように先端部の鋭くない非導電性の道具を使ってバッテリーをバッテリーソケットから取り外します。

10 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定の位置にカチッとはめ込みます。



11 コンピュータカバーを閉じます。

12 コンピュータスタンドを取り付けます（18 ページ参照）。

➡ 注意：ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。

13 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

14 セットアップユーティリティを起動して（102 ページ参照）、手順 1 で記録した設定に戻します。

15 取り外したバッテリーは適切な方法で処分します（12 ページ参照）。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com (テクニカルサポート)

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。

国(市) 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
日本(川崎) 国際電話アクセスコード： 001 国番号： 81 市外局番： 44	ウェブサイト： support.jp.dell.com テクニカルサポート (Dimension™ および Inspiron™) フリーコール：0120-198-226 テクニカルサポート(海外から) (Dimension および Inspiron) FAX 情報サービス 24 時間納期案内電話サービス カスタマーケア ビジネスセールス本部(従業員数 400 人未満) 法人営業本部(従業員数 400 人以上) エンタープライズ営業本部(従業員数 3500 人以上) 官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス デルグローバルジャパン 個人のお客様 代表	81-44-520-1435 044-556-3490 044-556-3801 044-556-4240 044-556-1465 044-556-3433 044-556-3430 044-556-1469 044-556-3469 044-556-1760 044-556-4300

認可機関の情報

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータシステムは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン/オフにすることによって判定できますので、以下の方法を1つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

さらに詳しいことは、デルのテクニカルサポート担当者または、ラジオ/テレビの専門家にご相談してください。

お使いのコンピュータシステムに関する認可機関の情報については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、35 ページを参照してください。

デル製品の保証および返品について

『サービス&サポートのご案内』を参照してください。

索引

B

BIOS 101

C

CD

コピーする 27

CD および DVD のコピー
CD または DVD のコピー
方法 28
一般的な情報 27
役に立つヒント 29

CD ドライブ

問題の解決 36
ライト 76

CD-RW ドライブ

問題の解決 36

D

Dell Diagnostics (診断)
プログラム 62

DVD

コピーする 27

DVD ドライブ

問題の解決 37
ライト 76

E

ESD

静電気放出

E メール

問題の解決 38

I

IEEE 1394 22

問題の解決 44

IRQ コンフリクト 71

M

Microsoft ライセンス
ラベル 14

N

NIC ネットワークアダプタ参照

P

PC カード

Type 84

取り付け 84

取り外し 86

問題の解決 48

R

ResourceCD 67

Dell Diagnostics (診断)
プログラム 62

U

USB デバイス

起動 30

USB デバイスからの起動 30

W

Windows XP

再インストール 71

システムの復元 69

スキャナー 51

デバイスドライバのロール
バック 67

ハイパースレッディング 29

プログラム互換性
ウィザード 41

ヘルプとサポート
センター 14

ヘルプへのアクセス 35

あ

安全にお使いいただくために 9

インターネット
問題の解決 38

インターネット接続
オプション 26
概要 26
セットアップ 26

ウィザード
プログラム互換性
ウィザード 41

エクスプレスサービス
コード 14

エラーメッセージ 40

オーディオ サウンド参照

オペレーティングシステム
CD 15

Windows XP の
再インストール 71
インストールガイド 15

音量
調節 52

か

カード
コネクタ 83
取り付け 87

カバー
閉じる 96

画面 モニター参照

キーボード
問題の解決 45

コネクタ
ネットワークアダプタ 78

コンピュータ
カバーを閉じる 96
壊れる 41, 42
仕様 97
内部の部品 82
反応が停止した場合 41

コンピュータの電源を切る 31

コンピュータをシャット
ダウンする 31

コンフリクト
ソフトウェアとハードウェア
の非互換性の解決 71
ドライバ 66

さ

再インストール
Windows XP 71
ドライバ 67

サウンド
音量の調節 52
問題の解決 52

サポート
デルへのお問い合わせ 106

システム基板 83

システムの復元 69

仕様 97

正面ドア
取り付け 79

診断
デル 62

スキャナー
問題の解決 51

スピーカー
音量の調節 52
問題の解決 52

設定
セットアップ
ユーティリティ 101

セットアップ図 13

セットアップ
ユーティリティ 101

ソフトウェア
ソフトウェアの
再インストール 67
ハイパースレッディング 29
問題の解決 41, 42

た

チェックディスク 37

ディスプレイ モニター参照

デバイスドライバのロール
バック 67

デル
お問い合わせ 106

デルサポート
ウェブサイト 14, 43

電源

コンピュータの電源を
切る 31

問題の解決 48

電源ライト

問題の解決 48

ドライバ 66

ResourceCD 68

再インストール 67

定義 66

トラブルシューティング 66

ドライブ

問題の解決 36

トラブルシューティング

Dell Diagnostics (診断)
プログラム 62

コンフリクト 71

システムの復元 69

デバイスドライバの
ロールバック 67

ドライバ 66

ヘルプとサポート
センター 14

問題の解決を参照

な

ネットワーク

問題の解決 47

ネットワークアダプタ

コネクタ 78

は

ハードウェア

ドライバ 66

問題の解決 43

ハードドライブ

問題の解決 37

ライト 76

ハイパースレッディング 29

『はじめよう』ヘルプファイル

アクセス 14, 35

パスワード

忘れた場合 103

バッテリー

交換 104

問題の解決 35

ビデオ

問題の解決 54

ビデオメモリ

コネクタ 83

ファイルと設定の

転送ウィザード 23

プリンタ

USB 21

ケーブル 20

接続 20

セットアップ 20

パラレル 20

問題の解決 50

プログラム互換性

ウィザード 41

ヘルプとサポートセンター 14

ヘルプファイル

アクセス 14, 35

保証 107

ま

マザーボード システム基板
参照

マニュアル 13

オーナーズマニュアル 13

オンライン 14

調べる 13

セットアップ図 13

ヘルプファイル 14

メッセージ

エラー 40

メモリ

コネクタ 83

モデム

問題の解決 38

モニター

画面が見づらい場合 55

何も表示されない場合 54

問題の解決 54

問題の解決

CD ドライブ 36

CD-RW ドライブ 36

DVD ドライブ 37

E メール 38

IEEE 1394 44

PC カード 48
一般的な問題 41
インターネット 38
エラーメッセージ 40
音量の調節 52
画面が青一色になった
場合 42
画面が見つらい場合 55
画面に何も表示されない
場合 54
キーボード 45
コンピュータが壊れた
場合 41, 42
コンピュータの反応が停止
した場合 41
サウンドとスピーカー 52
スキャナー 51
その他の技術的な問題 43
ソフトウェア 41
電源 48
電源ライト 48
ドライブ 36
トラブルシューティング
チャート 33
ネットワーク 47
ハードウェア 43
ハードドライブ 37
バッテリー 35
ビデオとモニター 54
プリンタ 50
プログラムが壊れる場合 41
プログラムと Windows の
互換性 41

プログラムの反応が
停止した場合 41
モデム 38
問題の特定 33
問題の特定
Dell Diagnostics (診断)
プログラム 62

ら

ライト
CD/DVD ドライブ 76
ハードドライブ 76